

書評 201910



天皇と国民をつなぐ大嘗祭

高森 明勅 著

展転社

皇位継承儀礼の大嘗祭。その成立はいつか? 新嘗祭との違いは何か? 大嘗祭の歴史と全体像を提示し、国民の参画は大嘗祭の最も大切な契機であるという視点から、大嘗祭の真姿に迫る。

2019.5./ 246p

978-4-88656-480-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/10/05



ドラフト最下位

村瀬 秀信 著

KADOKAWA

福浦和也、田畑一也、伊藤拓郎、長谷川潤...。その年のドラフト会議で名前を最後に呼ばれた“最下位指名選手”である彼らの数奇な運命にスポットライトをあて、心の奥を描く。『野球太郎』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

2019.9./ 322p

978-4-04-400526-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/10/06



罪の轍

奥田 英朗 著

新潮社

東京オリンピックを翌年にひかえた昭和 38 年、浅草で男児誘拐事件が発生した。しかし犯人が求めていたのは、大金でも、子どもの命でもなく...。犯罪ミステリ。『小説新潮』連載を改題し単行本化。

2019.8./ 587p

978-4-10-300353-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/10/06、東京・中日新聞 2019/10/06、朝日新聞 2019/10/12



現地嫌いなフィールド言語学者、かく語りき。

吉岡 乾 著

創元社

パキスタンとインドの山奥で、話者人口の少ない7つの言語を調査するフィールド言語学者の著者。現地の過酷な生活環境に心折れそうになりつつも、独り調査を積み重ねてきた日々を、独自のユーモアを交えつつ淡々と綴る。

2019.9./ 302p

978-4-422-39003-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/10/06、毎日新聞 2019/10/20、日本経済新聞 2019/10/26



世界一美味しい手抜きごはん〜最速!やる気のいらない 100 レシピ〜

はらぺこグリズリー 著

KADOKAWA

タダゴトではない旨さのじゃこピーマン、レンチンで角煮、フライパンだけでチーズデジタルビ...。料理初心者や忙しくて料理に時間をかけられない人へ、誰が作っても 100% 簡単で美味しく作れるレシピを紹介します。

2019.3./ 189p

978-4-04-602347-6

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/10/12

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2019 年 9 月時点での税抜価格です。



センス・オブ・シェイム～恥の感覚～

酒井 順子 著
文藝春秋

食べ放題での「元取り」食い、「お母さんに感謝」からのハグ。ブックカバーをしないで本を読む...。「何を恥ずかしいと思うか」には人によって差がある。共感を呼び起こすエッセイ集。『オール讀物』連載を単行本化。

2019:8./ 235p

978-4-16-391070-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/10/12



ひとり旅立つ少年よ(文春文庫 テ 12-6)

ボストン・テラン 著
文藝春秋

父は奴隷解放運動の資金の名目で大金を巻き上げ、それを狙う悪党に殺された。父の贖罪のため、12歳の少年チャーリーは金を約束どおり届けようと、遙か南へ向けて旅立つ。だがそのあとを父を殺した男たちが追う...

2019:8./ 358p

978-4-16-791341-0

本体 ¥920+税



産経新聞 2019/10/13



田中角栄のふろしき～首相秘書官の証言～

前野 雅弥 著

日本経済新聞出版社

高度成長下、宰相の座についた田中角栄。彼は日本をどこへ導こうとしたのか。政治の力で、日本国民に何をたらそうとしたのか。知られざる実像を元側近の証言から描く。『日経産業新聞』連載を大幅に加筆。

2019:8./ 245p

978-4-532-17671-6

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/10/13



“意識高い系”がハマる「ニセ医学」が危ない!

桑満 おさむ 著

育鵬社

岩盤浴でデトックス、コラーゲンで肌プルプル、合成添加物入り食品は食べちゃダメ...その方法ではよくならない! ネットや SNS に飛び交うウソ情報にダマされないコツを伝授する。

2019:9./ 175p

978-4-594-08305-2

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/10/13



知りたくなる韓国

新城 道彦、浅羽 祐樹、金香男、春木 育美 著

有斐閣

韓国はどのような来歴をもち、国としてどのように舵を切り、人びとはどんな暮らしをしているのか。韓国の歴史、政治、社会、文化を解説し、その実像を伝える。高齢者の貧困や K-POP 等について記したコラムも掲載。

2019:7./ 10p,298p

978-4-641-17449-8

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/10/13



ネコもよう図鑑～色や柄がちがうのはニャンで?～

浅羽 宏 著

化学同人

ネコの模様は、遺伝子の組み合わせによって決まります。ネコの模様パターンを11通りに分類し、ネコのほっこり写真とともに、遺伝のしくみを解説します。ネコ飼育の歴史などの基礎知識、遺伝子当てクイズも掲載。

2019:8./ 111p

978-4-7598-2015-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2019/10/13



死者の民主主義

畑中 章宏 著
トランスビュー

私たちは「見えない世界」とどのようにつながってきたのか。大震災をめぐる幽霊と妖怪、渋谷のハロウィン、IT と怪異現象、熊を神に祀る風習など、古今の現象を民俗学の視点で読み解く。

2019:7./ 263p
978-4-7987-0173-8

本体 ¥2,100+税



産経新聞 2019/10/13



何が「いただく」じゃ!

姫野 カオルコ 著
プレジデント社

アジの刺身のうまい食べ方から、ロンパールームの牛乳の謎まで、食のあれこれをヒメノ式で斬った異色の食エッセイ。『dancyu』連載等を大幅に加筆修正。

2019:7./ 252p
978-4-8334-5142-0

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/10/13



とんでいったふうせんは

絵本塾出版

みんなが持っている「思い出」のふうせん。ある日、おじいちゃんの手を離れてふうせんが飛んでいったのに、おじいちゃんは気づかなくて…。アルツハイマー病を発症した祖父と、優しい孫の姿を描いた絵本。

2019:9./ 40p
978-4-86484-152-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/10/13



日本近現代史講義～成功と失敗の歴史に学ぶ～(中公新書 2554)

山内 昌之、細谷 雄一 著
中央公論新社

明治維新から、日清・日露戦争、第二次世界大戦、東京裁判と歴史認識問題、戦後日中関係、そして未来に向けた歴史観の問題まで。特定の歴史観やイデオロギーに偏らず実証を旨とする、第一線の研究者たちによる入門講義。

2019:8./ 310p
978-4-12-102554-8

本体 ¥900+税



産経新聞 2019/10/13、読売新聞 2019/10/13



日本のパラリンピックを創った男 中村裕(14歳からの地図)

鈴木 款 著
講談社

障がい者の社会復帰と自立のために立ち上がった一人の医師。彼は 1964 東京パラリンピックを成功に導き、日本初の障がい者施設を設立した。“日本パラリンピックの父”中村裕の生涯を綴る。

2019:8./ 222p
978-4-06-516797-7

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/10/19



君が異端だった頃

島田 雅彦 著
集英社

3 月生まれの幼年期から、めくるめく修業時代を経て、鮮烈なデビューへ。文豪たちとの愛憎劇と、妻がある身の最低男の、華麗なる遍歴と、不埒な煩悶と。島田雅彦による自伝的青春私小説。『すばる』掲載を単行本化。

2019:8./ 298p
978-4-08-771190-5

本体 ¥1,850+税



産経新聞 2019/10/20



時間は存在しない

カルロ・ロヴェッリ、富永 星 著
NHK出版

“ホーキングの再来”と評される天才物理学者が、「物理学的に時間は存在しない」という考察を展開するとともに、それにもかかわらず私たちはなぜ時間が存在するのを感じるのかを、哲学や脳科学などの知見を援用して論じる。

産経新聞 2019/10/20

2019:8./ 237p

978-4-14-081790-2

本体 ¥2,000+税



宮沢賢治はなぜ教科書に掲載され続けるのか

構 大樹 著
大修館書店

多様な場で、さまざまな用い方で文化資源としての受容が進む宮沢賢治。それはどのような理由から成立しているのか？賢治受容の不思議を、賢治評価が高まり、やがて文化資産として確立するまでのプロセスから読み解く。

産経新聞 2019/10/20

2019:8./ 271p

978-4-469-22269-2

本体 ¥2,200+税



ねこのずかん(コドモエのえほん)

大森 裕子、今泉 忠明 著
白泉社

ねこと仲良くなりたいかい？それなら、ねこに会いに行こう！ねこの種類、生態から、ねこ語、ねこと友だちになる方法まで、無類のねこ好きがイラストで紹介する絵本。

産経新聞 2019/10/20

2019:4./ 1冊(ページ付なし)

978-4-592-76241-6

本体 ¥1,000+税



究極の思考実験～選択を迫られたとき、思考は深まる。～

北村 良子 著
ワニブックス

自らの頭で考え、決断し、意見をまとめる力をつけることで、あなたの思考の幅はより広く、より深くなる。思考、命、近未来、倫理に関する究極の選択を迫られる27の思考実験を、解説、アンケート結果とともに収録する。

産経新聞 2019/10/20

2019:9./ 191p

978-4-8470-9836-9

本体 ¥1,200+税



逆説の長寿力 21カ条～幸せな最期の迎え方～

名郷 直樹 著
さくら舎

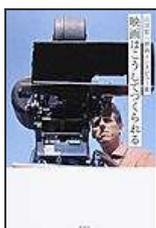
健康にものすごく気をつけても、適当に暮らしても、寿命は大きくは変わらない。超高齢社会では健康・長生きにこだわるとロクなことがない。「いま」を大事に楽しく生きるための逆説的長寿のすすめ。

産経新聞 2019/10/20

2019:10./ 182p

978-4-86581-219-0

本体 ¥1,400+税



映画はこうしてつくられる～山田宏一映画インタビュー集～

山田 宏一 著
草思社

ラウル・クータル(カメラマン)、アンナ・カーリーナ(女優)、ゴダール(監督)...。19人の映画人が「映画作りの秘密」について、真剣に、ときに親密に、機微にわたって語ったインタビュー集。

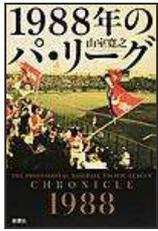
産経新聞 2019/10/26

2019:9./ 537p,27p

978-4-7942-2401-9

本体 ¥3,600+税





1988年のパ・リーグ

山室 寛之 著
新潮社

1988年のパ・リーグで何が起こっていたのか? 南海・阪急の衝撃的な身売りに、伝説の「10.19」ロッテ vs 近鉄のダブルヘッダー。“球史”に残る、昭和最終年のシーズン舞台裏を新証言と資料で綴る。

産経新聞 2019/10/27

2019:7./ 239p

978-4-10-352731-2

本体 ¥1,550+税



円谷幸吉 命の手紙

松下 茂典 著
文藝春秋

オリンピックの重圧、婚約者との破談、最期の日々につき添った謎の女性…。膨大な数の書簡、親族・関係者への取材から、日本中に衝撃を与えたマラソン銅メダリスト・円谷幸吉の自殺の真相に迫る。

産経新聞 2019/10/27

2019:10./ 214p

978-4-16-391102-1

本体 ¥1,400+税



在米被爆者

松前 陽子 著
潮出版社

彼らはなぜ広島で被爆し、戦後、太平洋を渡ったのか。日本では受け入れられず、アメリカでも無理解・差別に苦しめられてきた在米被爆者の知られざる軌跡を追う、渾身のノンフィクション。

産経新聞 2019/10/27

2019:7./ 219p

978-4-267-02190-9

本体 ¥1,400+税



ひみつのしつもん

岸本 佐知子 著
筑摩書房

私は私のことを監視しているかもしれない何者かの目を欺くために、見かけ上仕事をしているふりをしていることが往々にしてあるのだ。奇想天外、抱腹絶倒、キシモトワールド全開のエッセイ集。『ちくま』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2019/10/27

2019:10./ 222p

978-4-480-81547-7

本体 ¥1,600+税



湘南幻想美術館～湘南の名画から紡ぐストーリー～

太田 治子 著
かまくら春秋社

古賀春江「窓外の化粧」、葉祥明「幸せの秋」、アンリ・マティス「ラ・フランス」など、湘南の美術館でみられる絵や、湘南ゆかりの画家の絵に寄り添うようにして綴ったストーリー集。『かまくら春秋』掲載を加筆し単行本化。

産経新聞 2019/10/27

2019:10./ 94p

978-4-7740-0790-8

本体 ¥1,500+税



米中冷戦中国必敗の結末

山田 順 著
エムディエヌコーポレーション

アメリカが中国を「為替操作国」に認定したことにより、第二局面の「金融戦争」に突入している。ドル vs. 人民元では、中国に勝ち目はない…。米中覇権争いに中国がどのように敗戦していくか、歴史と地政学から読み解く。

産経新聞 2019/10/27

2019:10./ 263p

978-4-8443-6927-1

本体 ¥1,400+税





ともがら<朋輩>

中原 文夫 著
作品社

2 年前に専務を退任して取締役顧問の役に就いていた水野は、病院で、学生時代の旧知である恩城寺と再会し…。熟年で緊迫する生の葛藤、迷走する 2 人の奇妙な交感。彼らに救いはあるのか。短歌を交えて描いた小説。

産経新聞 2019/10/27

2019:10./ 98p

978-4-86182-780-8

本体 ¥1,100+税



病牀六尺 改版(岩波文庫)

正岡 子規 著
岩波書店

朝日新聞 2019/10/05

1984:7./ 193p

978-4-00-310132-2

本体 ¥540+税



夢中さ、きみに。(BEAM COMIX)

和山 やま 著
KADOKAWA

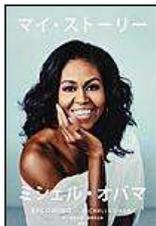
WEB などでは噂の作品たちが待望のコミックス化。話題の作品「うしろの二階堂」は全ページ加筆修正のうえ、30 ページ以上の描き下ろし続編を収録。

朝日新聞 2019/10/05

2019:8./ 167p

978-4-04-735718-1

本体 ¥700+税



マイ・ストーリー

ミシェル・オバマ、長尾 莉紗、柴田 さとみ 著
集英社

前アメリカ大統領夫人、ミシェル・オバマの回想録。優雅でユーモラス、そして率直な文章で、大統領一家の知られざる生活と、その特別な 8 年間に過ごしたホワイトハウスの内幕を鮮やかに綴る。

朝日新聞 2019/10/05

2019:8./ 579p 図版 16p

978-4-08-786117-4

本体 ¥2,300+税



クモの奇妙な世界～その姿・行動・能力のすべて～

馬場 友希 著
家の光協会

メスとオスのサイズ差はゾウと人ほど違う? いままでアリだと思って見ていたものはクモだったのかも? クモの面白い生態や進化の不思議、人の暮らしとの密接な関わりなどを気鋭のクモ研究家が紹介する。観察の手引きも掲載。

朝日新聞 2019/10/05

2019:8./ 351p

978-4-259-54769-1

本体 ¥1,800+税



まとめてわかる!ドイツ・オペラの名曲～ドイツ、オーストリアのオペラからオペレッタまで～

井形 ちづる、永竹 由幸 著
音楽之友社

永竹由幸著「オペラ名曲百科」下巻の<ドイツ、オーストリア>を基に、「ドイツ語圏におけるドイツ人作曲家によるオペラ」を区分基準として、オペラとオペレッタ全 136 作品を紹介。オペラの歴史的な位置と音楽的特徴も記す。

朝日新聞 2019/10/05

2019:9./ 388p

978-4-276-35532-3

本体 ¥4,000+税





驚異と怪異～想像界の生きものたち～

国立民族学博物館、山中 由里子 編
国立民族学博物館 著
河出書房新社

なぜ人類は、この世のキワにいるかもしれない不思議な生きものを思い描き、形にしてきたのか？世界の霊獣・幻獣・怪獣を集成し、妖怪やモンスターの源泉にある想像と創造の力を探る。国立民族学博物館特別展の公式図録。

2019:9./ 239p
978-4-309-22781-8

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/10/05



空の上には、何があるの?～はるか宇宙までぐんぐんのびるしかけ絵本～

シャーロット・ギラン、ユヴァル・ゾマー、桑原 洋子 著
河出書房新社

空の向こうには、いったい何があるんだろう？鳥や飛行機よりさらに高く、雲をこえて、星のまたたく宇宙まで、さあ、いっしょに旅をしよう！蛇腹になっている本文ページを広げると2.5mになる、しかけ絵本。

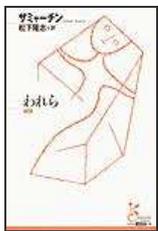
2019:7./ 1冊(ページ付なし)

978-4-309-28000-4

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/10/05



われら(光文社古典新訳文庫 KA サ 4-1)

ザミヤーチン 著
光文社

いまから1000年後、地球全土を支配下に収めた<単一国>では、各人の行動はすべて合理的に管理されている。その国家的偉業となる宇宙船の建造技術は、古代の風習に傾倒する女に執拗に誘惑され…。ディストピア小説の傑作。

2019:9./ 389p

978-4-334-75409-9

本体 ¥1,060+税



朝日新聞 2019/10/05



こども六法

山崎 聡一郎 著
弘文堂

法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらうのに役立つよ。いじめ、虐待に悩んでいるきみへ、楯となる法律について、イラストとやわらかい言葉で解説する。

2019:8./ 201p

978-4-335-35792-3

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/10/05



東京でお酒を飲むならば(祥伝社黄金文庫 G か 27-2)

甲斐 みのり 著
祥伝社

格式高い老舗居酒屋、下町の大衆酒場、ホテルのバー、洋食屋、喫茶店…。女同士でも訪れたい、物語のひそむ場へ。浅草や渋谷、新宿、神田、銀座など、雰囲気に酔える東京の酒場を紹介します。

2019:9./ 189p

978-4-396-31764-5

本体 ¥730+税



朝日新聞 2019/10/05



気にしすぎる自分がラクになる本(青春新書 PLAY BOOKS P-1145)

長沼 睦雄 著
青春出版社

小さなことを気にしすぎてクヨクヨ悩むという現象や、そのとらえ方について、心理学や神経科学、脳科学などの視点を織りまぜ、さまざまな角度から解説。自分を受け入れるために役立つ具体的な考え方やメソッドも紹介する。

2019:8./ 202p

978-4-413-21145-1

本体 ¥980+税



朝日新聞 2019/10/05



露出する女子、覗き見る女子～SNS とアプリに現れる新階層～(ちくま新書 1429)

三浦 展、天竺 邦一 著

筑摩書房

格差はスマホの中にある! 20-30 代女性 5442 人への調査から現代女性の SNS とアプリの利用実態を徹底分析。新しいメディアを駆使して格差社会を生き抜く女性の姿を伝える。

2019:8./ 253p

978-4-480-07243-6

本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/10/05



「助けて」が言えない～SOS を出さない人に支援者は何ができるか～

松本 俊彦 編

日本評論社

臨床現場で遭遇するであろう、さまざまな援助希求能力の乏しい人々や、それゆえに支援者を悩ませ、苛立たせる人々をとりあげ、その理解や対応のヒントを示す。『こころの科学』202 号掲載を増補し書籍化。

2019:7./ 263p

978-4-535-56379-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/05



日本のヤバい女の子～静かなる抵抗～

はらだ 有彩 著

柏書房

昔むかし、超生きていました。そして今も生きています…。『雨月物語』の磯良、「とりかへばや物語」の姫君など、昔話の女の子たちとひたすら語り合う。ウェブマガジン『アパートメント』掲載を加筆し書籍化。

2019:8./ 235p

978-4-7601-5150-9

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/10/05



夢をあきらめないで～68 歳で性別適合手術～

三土 明笑 著

現代書館

男性の身体で生まれていながら、心の帰属感は女性側。性的に好きになる対象も女性という「MTF レズビアン」の大学教授が、幼いころの戸惑いから、「ジェンダー」関連の数々のエピソードを綴る。テキストデータの請求券付き。

2019:9./ 253p

978-4-7684-5865-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/10/05



近代世界システム<1> 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立

I.ウオーラーステイン、川北 稔 著

名古屋大学出版会

歴史・経済・政治・社会の記述を大きく塗り替えて、現代の古典となった記念碑的著作。第 1 巻は今日の世界を覆う「資本主義的世界経済」の出発点となった、16 世紀ヨーロッパを中心とする近代世界システムの誕生の軌跡を描く。

2013:10./ 24p,423p,35p

978-4-8158-0743-8

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2019/10/05



知の不確実性～「史的社会科学」への誘い～

イマニュエル・ウオーラーステイン、山下 範久、滝口 良、山下 範久 著

藤原書店

「人文学」と「科学」への知の分割が限界を迎えた中で、社会科学が果たしうる役割とは。近代世界システムの知の刷新を提起した「脱=社会科学」「新しい学」等の著作の最先端に位置し、それらを読み解く手引きともなる書。

2015:10./ 274p

978-4-86578-046-8

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/10/05



クモのイト

中田 兼介 著
ミシマ社

クモの魅力は、その賢さと複雑さにある。エサを捕らえるために糸を使ってワナを仕掛け、経験から学び、未来を予測して柔軟に生き方を変えていく。クモと人間の関わり、クモという生き物のこと、クモの生き方について解説する。

2019:9./ 196p
978-4-909394-26-2

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/05



日本捕鯨史～概説～

中園 成生 著
古小鳥舎

捕鯨は必要なのか-。2019年7月に商業捕鯨を再開する日本。「日本には捕鯨の歴史と伝統がある」と語られるが、どれくらいの人がその実態を理解しているのか。「鯨と日本人の歴史」を再考し、見つめ直す。

2019:7./ 222p

978-4-910036-00-7

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/10/05



脱=社会科学～一九世紀パラダイムの限界～

イマニュエル・ウォーラーステイン 著
藤原書店

朝日新聞 2019/10/05

1993:9./ 444p

978-4-938661-78-6

本体 ¥5,700+税



奇書の世界史～歴史を動かす“ヤバい書物”の物語～

三崎 律日 著
KADOKAWA

歴史のある地点において奇書として位置づけられた書籍を「奇書」「名著」両方の観点から眺め、時代の移ろいにより評価が反転した経緯を解説する。動画サイト YouTube 等投稿を大幅に加筆修正、書下ろしを加えて書籍化。

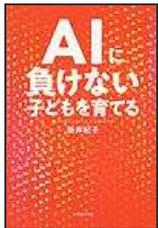
2019:8./ 314p,4p

978-4-04-604393-1

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/05、産経新聞 2019/10/20



AIに負けない子どもを育てる～21st Century Children～

新井 紀子 著
東洋経済新報社

AI が苦手な読解力を人間が身につけるには。小・中学校で成果をあげている授業・取組みを公開。読解力を身につける方法とともに、親や学校ができることを提言する。リーディングスキルテスト&切り取って使う解答用紙付き。

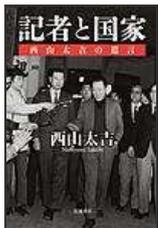
2019:9./ 328p

978-4-492-76250-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/05、産経新聞 2019/10/27



記者と国家～西山太吉の遺言～

西山 太吉 著
岩波書店

重要機密の厚いベールを前に、思いもかけず手にした極秘電信文は、返還交渉が偽装と隠蔽の産物であることを示す重要証拠だった…。国家の?と対峙した第一線の政治記者、西山太吉の運命と、初めて明らかになる事件の経緯。

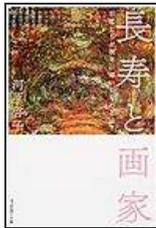
2019:8./ 10p,152p

978-4-00-061355-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/05、東京・中日新聞 2019/10/20



長寿と画家～巨匠たちが晩年に描いたものとは?～

河原 啓子 著
フィルムアート社

魂の叫びを作品にぶつけてきた美術家たち。ゴヤ、ルノワール、ピカソ、葛飾北斎、岡本太郎といった15人の長寿の画家たちの代表作や晩年期の作品から画業、私生活、出来事などをたどり、老境を考える。

2019:6./ 211p,11p

978-4-8459-1817-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/05、読売新聞 2019/10/13



奴隷船の世界史(岩波新書 新赤版 1789)

布留川 正博 著
岩波書店

奴隷船で奴隷はいかなる境遇に置かれたのか。奴隷貿易と奴隷制に立ちむかったのはどんな人たちか。奴隷船を主題に、大西洋奴隷貿易をめぐる世界史をたどる。また、現代の奴隷制の様相や今なお残る人種差別の問題にも切りこむ。

2019:8./ 15p,234p,6p

978-4-00-431789-0

本体 ¥860+税



朝日新聞 2019/10/05、読売新聞 2019/10/20



崩壊学～人類が直面している脅威の実態～

パブロ・セルヴィーニ、ラファエル・ステイーヴンス、鳥取 絹子 著
草思社

疲弊する社会制度、エネルギーの枯渇、グローバル化によるリスクの拡大、レジリエンスを失った生態系、異常気象の頻発…。現行の枠組が崩壊間際になっている現状をデータとともに提示する。

2019:9./ 270p

978-4-7942-2412-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/10/05、日本経済新聞 2019/10/05



京都異界紀行(講談社現代新書 2543)

西川 照子 著
講談社

京都の地に立って、そこに住む「怨霊」の声に耳を傾ける。すると、昔むかしの風景・出来事が甦る。怨霊たちは案内人となって、本物の京都へ誘ってくれる。京都人も知らない京都の裏のウラの貌を明らかにする。

2019:9./ 302p

978-4-06-516146-3

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2019/10/05、日本経済新聞 2019/10/12



環境再興史～よみがえる日本の自然～(角川新書 K-282)

石 弘之 著
KADOKAWA

日本では経済発展と引きかえに、水や大気は汚染され、森を奪われた動物たちは絶滅の危機に瀕した。それから30年余りで、劇的に改善したのはなぜか。日本の環境を最前線で見続けてきた著者が、その背景を追う。

2019:9./ 313p

978-4-04-082237-2

本体 ¥900+税



朝日新聞 2019/10/05、日本経済新聞 2019/10/19



天丼 かつ丼 牛丼 うな丼 親子丼～日本五大どんぶりの誕生～(ちくま学芸文庫 イ54-3)

飯野 亮一 著
筑摩書房

どんぶり物を生み出したのは、江戸時代に生きたある男の“食い意地”だった!? どんぶり物の中でも歴史のある天丼、かつ丼、牛丼、うな丼、親子丼に注目し、史料を基にこれらが誕生し、人気食になっていった過程を描き出す。

2019:9./ 318p

978-4-480-09951-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/10/05、日本経済新聞 2019/10/26



熱源

川越 宗一 著
文藝春秋

樺太で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。

2019:8./ 426p

978-4-16-391041-3

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2019/10/05、毎日新聞 2019/10/13、日本経済新聞 2019/10/19



主権論史～ローマ法再発見から近代日本へ～

嘉戸 一将 著
岩波書店

法秩序に正統性を与える「主権」という概念。近代ヨーロッパが重ねてきた議論の歴史、日本における二つの憲法制定過程、そしてその間にあった国体を巡る論争など、膨大な資料を読み解きながら、主権論という未踏の領域へ挑む。

2019:8./ 7p,516p,9p

978-4-00-061359-0

本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2019/10/12



日常にひそむうつくしい数学

富島 佑允 著
朝日新聞出版

私たちは数学とともに生きている。この世界を数学的な視点で見よう。「かたち」「かず」「うごき」などをテーマに、身の回りにある様々な「不思議」「美しい」「おもしろい」に隠された法則を、数学を使って解き明かす。

2019:7./ 215p

978-4-02-331797-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/10/12



虫の文学誌

奥本 大三郎 著
小学館

バルザックの「幻滅」に登場する昆虫学者、「日本書紀」にみえるトンボ、「源氏物語」のホタル…。古今東西の文学を渉猟し、虫に関わる箇所を抜き出し、考察する人間論。NHK 教育テレビのテキストを元に書籍化。

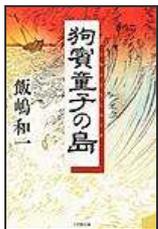
2019:7./ 447p

978-4-09-388706-9

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2019/10/12



狗賓童子の島(小学館文庫 い 25-7)

飯嶋 和一 著
小学館

弘化3年、隠岐・島後に、大坂から15歳の西村常太郎が流された。16歳になった常太郎は狗賓が宿るといふ「御山」の千年杉へ初穂をささげる役を命じられる。やがて医師になった常太郎は、島を覆う幕末の狂乱に巻き込まれ…。

2019:9./ 748p

978-4-09-406685-2

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2019/10/12



博士の愛した数式(新潮文庫)

小川 洋子 著
新潮社

博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。博士は“初対面”の私に、靴のサイズや誕生日を尋ねた。数字が博士の言葉だった。

2005:11./ 291p

978-4-10-121523-5

本体 ¥550+税



朝日新聞 2019/10/12



魂の沃野<上>(中公文庫 き 17-10)

北方 謙三 著
中央公論新社

ある夜、16歳の風谷小十郎は、山中の樹にもたれて嗚咽を漏らす奇妙な坊主と出会い…。加賀の地に燃え広がる一向一揆の炎。蓮如、富樫政親との奇縁から、闘いに身を投じた小十郎の青春を描く、血潮たぎる歴史巨篇。

朝日新聞 2019/10/12

2019:9./ 393p

978-4-12-206781-3

本体 ¥700+税



魂の沃野<下>(中公文庫 き 17-11)

北方 謙三 著
中央公論新社

蓮如の吉崎退去、小十郎の恋、そして守護・政親の強権。戦場を覆い尽くす念仏が、かつて共に闘った者たちを、別々の明日に追い立ててゆく…。加賀一向一揆を生きた男たちの雄叫びがこだまする感動巨篇。

朝日新聞 2019/10/12

2019:9./ 370p

978-4-12-206782-0

本体 ¥680+税



楽園の真下

萩原 浩 著
文藝春秋

日本でいちばん天国に近い島、志手島。その島で世界最大級のカマキリが発見された。フリーライターの藤間は、取材のため現地へ向かう。だが、楽園とは別の姿が…。科学サスペンス長編。『オール讀物』連載に加筆して単行本化。

朝日新聞 2019/10/12

2019:9./ 478p

978-4-16-391089-5

本体 ¥1,750+税



一度死んだ僕の、車いす世界一周〜No Rain, No Rainbow〜

三代 達也 著
光文社

石畳地獄のヨーロッパ、尻に鞭打つ長距離列車…。世界はバリアに溢れている。でもあらゆるバリアは、人の手で越えられる！車いすで、介助者なしのひとり旅をした著者が、波瀾万丈の270日間を綴る。

朝日新聞 2019/10/12

2019:7./ 271p

978-4-334-95107-8

本体 ¥1,500+税



親鸞「六つの顔」はなぜ生まれたのか(筑摩選書 0178)

大澤 絢子 著
筑摩書房

鎌倉時代から現代まで、親鸞を取り上げた絵巻や小説など膨大な資料を分析。「法然の弟子」「説法者」「妻帯した僧」「歎異抄」の親鸞など「六つの顔」がなぜ、いかにして生まれたかを明らかにする。

朝日新聞 2019/10/12

2019:8./ 227p

978-4-480-01685-0

本体 ¥1,500+税



数の女王

川添 愛 著
東京書籍

一人ひとりに「運命の数」が与えられている世界。王妃の娘ナジャは、最愛の姉が王妃によって殺されたという話を耳にする。ナジャは、禁じられた計算を行う妖精たちと出会い…。数論とアルゴリズムをテーマにしたファンタジー。

朝日新聞 2019/10/12

2019:7./ 333p

978-4-487-81253-0

本体 ¥1,600+税





ライオンのおやつ

小川 糸 著
ポプラ社

若くして余命を告げられた雫は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことを決めた。穏やかな景色の中、本当にしたかったことを考える雫。ホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの日」があって...

朝日新聞 2019/10/12

2019:10./ 255p
978-4-591-16002-2

本体 ¥1,500+税



絶望の林業

田中 淳夫 著
新泉社

補助金漬け、死傷者続出、低賃金、相次ぐ盗伐、非科学的な施策...。いま、日本の林業現場で何が行われているのか。30年近く森林と林業を取材してきた著者が、官製“成長産業”の不都合な真実を明らかにする。

朝日新聞 2019/10/12

2019:8./ 301p
978-4-7877-1919-5

本体 ¥2,200+税



生き物の死にざま

稲垣 栄洋 著
草思社

生きものたちは、晩年をどう生き、どのようにこの世を去るのか。子に身を捧ぐハサミムシ、海と陸の危険に満ちた一生をおくるウミガメ...。生命の最後の輝きを描く、哀切と感動の29話を収録。生きものイラストも掲載する。

朝日新聞 2019/10/12

2019:7./ 207p
978-4-7942-2406-4

本体 ¥1,400+税



ヴェールを被ったアンティゴネー

フランソワ・オスト、伊達 聖伸 著
小鳥遊書房

信教の自由、女性差別...。現代の社会問題を、ギリシア悲劇「アンティゴネー」のアダプテーションによって突き付ける! 権力にたったひとりで立ち向かうムスリム女性の悲劇を描いた傑作戯曲。著者のインタビューも収録。

朝日新聞 2019/10/12

2019:8./ 188p
978-4-909812-17-9

本体 ¥2,200+税



ネット右派の歴史社会学~アンダーグラウンド平成史 1990-2000年代~

伊藤 昌亮 著
青弓社

ネット上で保守的・右翼的な言動を繰り返す人々、「ネット右派」はどのように生まれ、いかに日本社会を侵食していったのか。その真の意図とは何だったのか。幅広い領域の動向を追い、ネット右派の現代史を描き出す。

朝日新聞 2019/10/12、読売新聞 2019/10/27

2019:8./ 512p
978-4-7872-3458-2

本体 ¥3,000+税



魔偶の如き齋すもの

三津田 信三 著
講談社

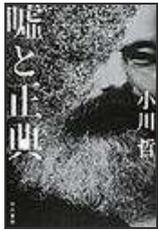
奇妙な文様が刻まれている土偶の骨董、「魔偶」は、所有する者に福と禍を齎すという...。敗戦の空気が色濃く残った東京で、蒼き小説家が奇妙な謎の数々に対峙する。刀城言耶シリーズ。『メフィスト』掲載に書き下ろしを加える。

朝日新聞 2019/10/13

2019:7./ 301p
978-4-06-516495-2

本体 ¥1,700+税





と正典

小川 哲 著
早川書房

零落した稀代のマジシャンがタイムトラベルに挑む「魔術師」、CIA 工員が共産主義の消滅を企む表題作などを収録した、SF とエンタメの最前線たる 6 篇の作品集。『SF マガジン』他掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:9./ 283p

978-4-15-209886-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/13



流浪の月

風良 ゆう 著
東京創元社

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

2019:8./ 313p

978-4-488-02802-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/10/13



わたしの良い子

寺地 はるな 著
中央公論新社

大人が言う「良い子」って、何？ 出奔した妹の子ども・朔と暮らすことになった椿。勉強が苦手で内こもりがちで、決して「育てやすく」はない朔との生活の中で、椿は無意識に朔を他の子どもと比べていることに気づき...

2019:9./ 212p

978-4-12-005230-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/13、東京・中日新聞 2019/10/20



民主主義を救え!

ヤンヤ・モンク、吉田 徹 著
岩波書店

北米や西欧を襲う民主主義の後退。民主主義の「非常時」に、私たちは何をすべきか。最先端の学術的知見とデータ、自身のマイノリティとしての経験を交えながら「闘う民主主義」へと誘う、気鋭の政治学者による分析と警告の書。

2019:8./ 16p,282p,76p

978-4-00-024889-1

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/10/19



短篇小説講義 増補版(岩波新書 新赤版 1792)

筒井 康隆 著
岩波書店

小説は何をどう書いてもいいのだ。数かずの話題作を生み出してきた作家・筒井康隆が、ディケンズら先駆者の名作を読み解き、黎明期の短篇に宿る形式と極意を探る。自身の小説で試みた実験的手法を解説した増補版。

2019:8./ 3p,206p

978-4-00-431792-0

本体 ¥780+税



朝日新聞 2019/10/19



季語うんちく事典(角川ソフィア文庫 D118-1)

新海 均 編
KADOKAWA

俳句歳時記には載っていない、季語のトリビアが大集合! 「なぜ東風(こち)と呼ぶ?」「なぜつゆは梅雨と書く?」など、面白くて意外な知識が満載。ことばの趣きと豊かさを感じながら、愉快でためになる季語うんちく事典。

2019:9./ 237p

978-4-04-400553-5

本体 ¥720+税



朝日新聞 2019/10/19



**ジャパニーズハロウィンの謎～若者はなぜ渋谷だけで馬鹿騒ぎするのか?～
(星海社新書 154)**

松井 剛 編
一橋大学商学部松井ゼミ 15 期生 著
星海社

負のイメージで取り沙汰される渋谷ハロウィン、20 年以上の歴史を誇るカワサキハロウィン…。いつの間にか日本の年中行事となったハロウィンの現在・過去・未来を、現地レポートと消費者行動論で読み解く。

2019:9./ 312p
978-4-06-517203-2

本体 ¥980+税



朝日新聞 2019/10/19



保護者のためのいじめ解決の教科書(集英社新書 0990)

阿部 泰尚 著
集英社

学校に相談するときは朝 10 時の電話。メールや手紙は NG…。わが子をいじめから守りたいと願う保護者に向け、6 千件のいじめ相談を受けてきた NPO 代表が、タテマエ抜きで超実践的いじめ解決法をアドバイスする。

2019:9./ 187p
978-4-08-721090-3

本体 ¥780+税



朝日新聞 2019/10/19



アンジュと頭獅子

吉田 修一 著
小学館

「人の幸せに隔てがあってはならぬ。慈悲の心を失っては人ではないぞ」古典の名作「山椒太夫」をベースに、安寿と厨子王が時空を超えて繰り広げる大冒険。誰かのために生きる時代を模索する今、慈悲の心の尊さを問う。

2019:10./ 123p
978-4-09-386550-0

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/10/19



北村薫のうた合わせ百人一首(新潮文庫 き-17-14)

北村 薫 著
新潮社

短歌は美しく織られた謎。言葉の糸をほぐして隠された暗号を読み解き、確かな読みで、その魔力を味わう。スリリングな短歌随想。藤原龍一郎・穂村弘との鼎談も収録。

2019:10./ 316p,6p
978-4-10-137334-8

本体 ¥550+税



朝日新聞 2019/10/19



闘う文豪とナチス・ドイツ～トーマス・マンの亡命日記～(中公新書 2448)

池内 紀 著
中央公論新社

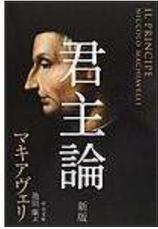
ナチス台頭から終焉、終戦後までの激動の時代を、どう見つめ、記録したか。ナチスに国外追放され、アメリカを拠点にヒトラー打倒を訴え続けたドイツ人作家トーマス・マン。遺された日記から浮かび上がる闘いの軌跡を追う。

2017:8./ 5p,226p
978-4-12-102448-0

本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/10/19



君主論 新版(中公文庫 マ2-4)

マキアヴェリ 著
中央公論新社

「人はただ結果だけを見てしまう」「愛されるより恐れられるほうが、はるかに安全である」…。目的のためには手段を選ばない権謀術数の書とレッテルを貼られ、「マキアヴェリズム」という言葉を生んだ古典的名著。

2018:2./ 267p
978-4-12-206546-8

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/10/19



ディープテック～世界の未来を切り拓く「眠れる技術」～

丸 幸弘、尾原 和啓 著
日経BP社

テクノロジーを使い、根深い課題を解決する「ディープテック」。海外で沸き起こるディープテック旋風を紹介し、日本におけるディープテックの現状とその可能性を、スタートアップのケーススタディとともに示す。

2019:9./ 183p
978-4-296-10363-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/19



上京する文学～春樹から漱石まで～(ちくま文庫 お34-9)

岡崎 武志 著
筑摩書房

生まれ育った町ではないからこそ、新鮮な想いで風景や人々を眺め、作品へと昇華していった作家たち。<東京>を目指した作家、またそんな若者を描いた作品を<上京者>という視点で読み解く。重松清の特別寄稿も収録。

2019:9./ 309p
978-4-480-43614-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2019/10/19



変身(白水Uブックス)

カフカ 著
白水社

ある朝、グレーゴル・ザムザが不安な夢から目を覚ましたところ、ベッドのなかで、自分が途方もない虫に変わっているのに気がついた…。「カフカ小説全集」を、訳文に手直しをほどこして再編集したシリーズ。

2006:3./ 147p
978-4-560-07152-6

本体 ¥750+税



朝日新聞 2019/10/19



花と?(RAKUEN COMICS)

イトイ 圭 著
白泉社

稀代の新鋭が描く高校生男女とその家族のひと夏の物語。 ガールミーツボーイを主軸に人々の過去と現在が交差する航跡のその先に「未来」への確かな手応えが心に残る全1巻。 2019年9月刊

2019:9./ 229p
978-4-592-71157-5

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2019/10/19



アリストテレス生物学の創造<上>

アルマン・マリー・ルロワ、森 夏樹 著
みすず書房

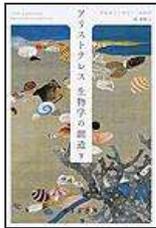
形態から発生、代謝、分類、老化、情報の継承まで、2400年を経て蘇る、超人的先駆者の着眼と構想。アリストテレスの生物学的仕事の全貌を鮮やかに描き出し、時代を超えて探求され続ける生物学の精髓を読み解く。

2019:9./ 291p,63p
978-4-622-08834-9

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/10/19



アリストテレス生物学の創造<下>

アルマン・マリー・ルロワ、森 夏樹 著
みすず書房

形態から発生、代謝、分類、老化、情報の継承まで、2400 年を経て蘇る、超人的先駆者の着眼と構想。アリストテレスの生物学的仕事の全貌を鮮やかに描き出し、時代を超えて探求され続ける生物学の精髓を読み解く。

2019:9./ p294?586 35p
978-4-622-08835-6

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/10/19



平成出版データブック～『出版年鑑』から読む 30 年史～

能勢 仁 著
ミネルヴァ書房

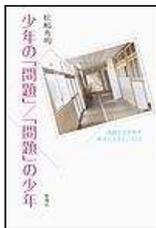
出版業界の動向を長年にわたって伝えてきた『出版年鑑』にもとづいて、平成出版史を振り返る。各年の出版社の動きや出版業界のニュースをはじめ、基本となる出版統計や興味深い海外のデータも掲載する。

2019:10./ 5p,207p
978-4-623-08657-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/10/19



少年の「問題」/「問題」の少年～逸脱する少年が幸せになるということ～

松嶋 秀明 著
新曜社

反社会的な「問題」行動をする少年をどのように支えられるのか。逸脱する少年のいる中学校でのフィールドワークとインタビューから、少年と教師、教師同士の「関係性」等をとらえ、何が少年たちの幸せにつながるのかを探る。

2019:9./ 13p,203p,7p
978-4-7885-1642-7

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/10/19



つけびの村～噂が 5 人を殺したのか?～

高橋 ユキ 著
晶文社

一夜に 5 人の村人が殺害された集落。犯人の家に貼られた川柳「つけびして煙り喜ぶ田舎者」は<戦慄の犯行予告>として世間を騒がせたが…。山口連続殺人放火事件を追いかけるルポルタージュ。ウェブ掲載記事をもとに書籍化。

2019:9./ 302p
978-4-7949-7155-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/19



?町中学校の型破り校長 非常識な教え～生きる力を育む!～(SB 新書 489)

工藤 勇一 著
SBクリエイティブ

宿題、定期テスト、頭髪・服装指導、すべて廃止! 世の中の「当たり前」をやめれば、子どもはたちまち変わります! ?町中学校の取り組みと、40 年余の教員生活で養われた思考をベースにまとめた、親に向けた子育て論。

2019:9./ 213p
978-4-8156-0131-7

本体 ¥830+税



朝日新聞 2019/10/19



袖が語れば

竹原 あき子 著
緑風出版

着物の袖は、平安時代には床に届くほど華麗で長かったが、近代になるにつれ筒袖が世界のスタンダードになった。その袖に導かれて奈良、長安、サマルカンド、コンスタンチノーブルに旅した記録。フランス語併記。

2019:8./ 221p
978-4-8461-1912-6

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2019/10/19



モーガン夫人の秘密

リディアン・ブルック、下 隆全 著

作品社

かつての敵国の再建にやってきたイギリス軍のモーガン大佐と、その妻レイチェル、息子エドモンド。屋敷を接収されたルベルト氏と娘フリーダは、モーガン家と同居することになり…。2019年9月デジタル配信映画の原作小説。

2019:9./ 401p

978-4-86182-686-3

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/10/19



井戸茶碗の真実～いま明かされる日韓陶芸史最大のミステリー～

趙 誠主、多胡 吉郎 著

影書房

日本では国宝ともなった茶碗の王者・井戸茶碗は、原産地・朝鮮ではどんな器だったのか？ 土と炎を熟知した韓国人陶芸家が、製作時期、場所、用途など多角的なアプローチから謎の名碗の真実に迫る。記者による現地訪問記付き。

2019:8./ 197p

978-4-87714-483-8

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/10/19



恩地孝四郎～一つの伝記～

池内 紀 著

幻戯書房

軍靴とどろくなかでも洒落た試みを続けた抽象の先駆者・恩地孝四郎は、ひとり「文明の旗」をなびかせていた。版画、油彩、写真、フォトグラム、コラージュ、詩…。色あせない作品群と、時代を通して綴る評伝。

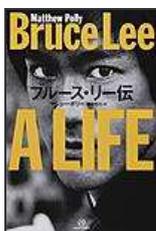
2012:5./ 329p

978-4-901998-92-5

本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2019/10/19



ブルース・リー伝

マシュー・ポリー、棚橋 志行 著

亜紀書房

100人を超える関係者への濃密な取材が生んだブルース・リーの評伝。知られざる幼少時代、激動の60年代を過ごした米国時代、輝かしい香港凱旋からその死に至るまでのセンシティブな真相に新たな光を当てる。

2019:8./ 567p 図版 16p

978-4-7505-1607-3

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2019/10/19、読売新聞 2019/10/20



日本人は右傾化したのか～データ分析で実像を読み解く～

田辺 俊介 著

勁草書房

ネット右翼、日本礼賛番組、そして安倍政権の長期化…。日本人は本当に右寄りになったのか？ 印象論やイデオロギーを排し、大規模な社会調査と統計学で、日本人の「右傾化」の実態を検証する。

2019:9./ 10p,270p,60p

978-4-326-35179-4

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/10/19、読売新聞 2019/10/27



石川九楊自伝図録～わが書語る～

石川 九楊 著

左右社

副島種臣、河東碧梧桐の衝撃を世に知らしめ、新しい書史を確立。現代芸術の世界を毅然と歩んできた書家が、何を感じ、考えてきたか、作品と人生を語る。2017?2018年開催の連続講座の記録。

2019:8./ 330p

978-4-86528-244-3

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/10/19、読売新聞 2019/10/27



GHQの検閲・諜報・宣伝工作(岩波現代全書 007)

山本 武利 著
岩波書店

戦後の日本では GHQ による検閲と宣伝工作が展開された。検閲組織とその実態を明らかにし、朝日新聞や NHK などの組織や著名人たちが検閲・諜報・宣伝活動にどのようにかかわり、翻弄されたかを検証する。

2013:7./ 20p,217p,28p

978-4-00-029107-1

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/10/26



子午線を求めて(講談社文芸文庫 ほ F1)

堀江 敏幸 著
講談社

フランスで長らく経度の基準とされてきた、パリ子午線。敬愛する詩人ジャック・レダの文章に導かれて、その痕跡をたどりながら、「私」は街をさまよひ歩く。著者の作家としての原点を映し出す、初期傑作散文集。

2019:8./ 289p

978-4-06-516839-4

本体 ¥1,750+税



朝日新聞 2019/10/26



言い訳~関東芸人はなぜ M-1 で勝てないのか~(集英社新書 0987)

埴 宣之 著
集英社

M-1 チャンピオン未経験ながら最年少審査員に抜擢された芸人・埴宣之(ナイツ)が、漫才を徹底解剖。「ツッコミ全盛時代」などの最新事情から「ヤホー漫才」誕生秘話まで存分に語る。

2019:8./ 222p

978-4-08-721087-3

本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/10/26



求愛(集英社文庫 せ 1-44)

瀬戸内 寂聴 著
集英社

愛はままならない。だから死ぬまで愛を求める。舌癌で亡くなった夫の愛人へ妻からの謝罪の手紙。そこには最期の壮絶なやり取りが告白されていた...。「妻の告白」ほか、全 30 篇を収録。瀬戸内寂聴が贈る、恋愛掌小説集。

2019:9./ 165p

978-4-08-744019-5

本体 ¥500+税



朝日新聞 2019/10/26



野生化するイノベーション~日本経済「失われた 20 年」を超える~(新潮選書)

清水 洋 著
新潮社

「米国のやり方」を導入しても、日本企業の生産性が上がらないのはなぜか。「野生化=ヒト・モノ・カネの流動化」という視点から、イノベーションをめぐる誤解や俗説を覆し、日本の成長戦略の抜本的な見直しを提言する。

2019:8./ 259p

978-4-10-603845-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/10/26



影裏(文春文庫 め 3-1)

沼田 真佑 著
文藝春秋

会社の出向で移り住んだ岩手で、ただひとり心を許した同僚の日浅。いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、「3.11」以後、触れることになるのだが...。表題作に、単行本未収録の「廃屋の眺め」「陶片」を併録。

2019:9./ 169p

978-4-16-791347-2

本体 ¥550+税



朝日新聞 2019/10/26



帝国に生きた少女たち～京城第一公立高等女学校生の植民地経験～

広瀬 玲子 著
大月書店

植民者 2 世の少女たちの目に植民地朝鮮はどのように映っていたのか。敗戦から引揚げ後を生きるなかで、内面化した植民地主義をどのように自覚し、克服していくのか。アンケート、インタビューなどの生の声から読み解く。

2019:8./ 222p

978-4-272-52114-2

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/10/26



青い秋

中森 明夫 著
光文社

アイドル、ライター、カメラマン…。誰もが元気一杯で遊んでいた、あの頃の東京。かつて<おたく>を命名した中森明夫が、昭和・平成の青春時代を描いた私小説。『小説すばる』『本がすき。』掲載に書下ろしを加え単行本化。

2019:10./ 323p

978-4-334-91315-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/26



トラジャ～JR「革マル」30年の呪縛、労組の終焉～

西岡 研介 著
東洋経済新報社

JR 東日本労組の大量脱退、JR 北海道の社長 2 人と組合員の相次ぐ死…。JR 東日本の 30 年に及ぶ革マルの呪縛からの解放、「JR 革マル」対「党革マル」の内ゲバ、今なお続く JR 北海道の異常な労使の姿を明らかにする。

2019:9./ 615p,8p

978-4-492-22391-8

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/10/26



中国古鎮をめぐり、老街をあぐる

多田 麻美、張 全 著
亜紀書房

天空に浮かぶ村「窯洞」、昔日の繁栄を今に残す城壁の街、伝統劇や伝統武術を継承する人たち、変わりゆく水郷、その地方ならではの味…。独特な文化が残る中国の町や村の変わりゆく姿を丹念に描いた紀行エッセイ。

2019:9./ 271p

978-4-7505-1612-7

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/10/26



井筒俊彦さんまい

若松 英輔 編
慶應義塾大学出版会

古今東西の哲学をその身に引き受け、西洋思想に匹敵する「東洋思想」を打ち立てようとした哲学者・井筒俊彦。その多彩な姿を、同時代と現代の作家・思想家・学者によるエッセイと豊富な写真で辿る。

2019:10./ 229p

978-4-7664-2630-4

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2019/10/26



クィア・スタディーズをひらく<1> アイデンティティ、コミュニティ、スペース

菊地 夏野、堀江 有里、飯野 由里子、朝香 知己 著
晃洋書房

「異性愛」的でないとされる人々の生や経験、言説実践に関する研究等を指す学問領域、クィア・スタディーズの現在地を知る試み。1 は、同領域において重要で複雑な意味を持つ「アイデンティティ」などをキーワードに論じる。

2019:10./ 7p,262p,3p

978-4-7710-3200-2

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/10/26



検閲・メディア・文学～江戸から戦後まで～

宗像 和重 編
新曜社

いつ、なぜ、どんな法規や制度がつくられ、どんなメディアやジャンルが対象となったか。規制はどのように受け入れられ、抵抗されたか。文学や文化テキストの生成・受容空間における検閲の作用を多角的に探る。

2012:4./ 191p,191p

978-4-7885-1284-9

本体 ¥3,900+税



朝日新聞 2019/10/26



原子力時代における哲学(犀の教室)

國分 功一郎 著
晶文社

原子力の本質的な危険性を早くから指摘していた哲学者マルティン・ハイデッガー。その洞察の秘密はどこにあったのか。知られざるテキスト「放下」を軸にした、壮大なスケールの技術と自然をめぐる連続講演の記録。

2019:9./ 317p

978-4-7949-7039-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/26



オオカミが来た朝(世界傑作童話シリーズ)

ジュディス・クラーク、ふなと よし子 著
福音館書店

父親を亡くし仕事を探しに出た少年ケニー、ケニー一家のもとにやってきた年長いたおばさん、近所のインド人の難民一家…。オーストラリアのある家族の日常のひとこまを、4世代にわたり、時にユーモアを交え繊細に描く短編集。

2019:9./ 237p

978-4-8340-8364-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/10/26



戦争と資本～統合された世界資本主義とグローバルな内戦～

エリック・アリエズ、マウリツィオ・ラッツァラート、杉村 昌昭、信友 建志 著
作品社

資本は常に新たな戦争を求め、戦争抜きには存続しえない。現在の<世界内戦>といわれる戦争状態が、なぜ発生しているのかを論じ、その成り行きが今後の資本主義の行方、世界の在り方を決定することを明らかにする。

2019:9./ 423p

978-4-86182-772-3

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/10/26



検閲と発禁～近代日本の言論統制～

水沢 不二夫 著
森話社

戦前?戦中に繰り返された発禁をめぐる出版界と体制側の熾烈な攻防。検閲原本に残された痕跡から思想弾圧の実態を明らかにし、森?外、芥川龍之介、小川未明をはじめとする作家らが検閲とどう対峙したかをさぐる。

2016:12./ 465p

978-4-86405-104-0

本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2019/10/26



まいにちたのしい

KAKATO、オオクボ リュウ 著
ブロンズ新社

「ようよう たいよう さんさん おはよう」から「ぐーぐー ぐっすり ずうーずうーずうー」まで。一日を全力でかけぬける主人公を、リズムのあることばとイラストで描いた、ラッパーとアーティストによる絵本。

2019:8./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89309-661-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/10/26



牧原憲夫著作選集<上巻> 明治期の民権と民衆

牧原 憲夫、戸邊 秀明 編
牧原 憲夫 著
有志舎

日本近代史研究に大きな足跡を残した歴史家・牧原憲夫の著作選集。上巻は、研究の原点となる初期論考をはじめ、明治後期の土地問題や農民問題論、民権運動の分析から、新しい民衆史像を提示した1990年代の論考までを収録。

2019:9./ 7p,308p,14p
978-4-908672-33-0

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/10/26



牧原憲夫著作選集<下巻> 近代日本の文明化と国民化

牧原 憲夫、戸邊 秀明 編
牧原 憲夫 著
有志舎

日本近代史研究に大きな足跡を残した歴史家・牧原憲夫の著作選集。下巻は、国民国家論をめぐって展開した文明化・国民化についての論考、田中正造と山代巴を対象に歴史のなかの個人を論じた論文などを収録。

2019:9./ 7p,297p,16p
978-4-908672-34-7

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/10/26



愛犬家の動物行動学者が教えてくれた秘密の話

マーク・ベコフ、森 由美、藪田 慎司 著
エクスナレッジ

犬が臭い場所を嗅いだり、そこに転がるのはなぜ？ 犬に心はあるのか？ 犬の良き相棒になるには...？ ペット先進国アメリカで何千頭もの犬たちを観察してきた著者が、犬の秘密を紐解く。

2019:8./ 377p

978-4-7678-2658-5

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/10/26、日本経済新聞 2019/10/26



蝶を飼う男～シャルル・バルバラ幻想作品集～

シャルル・バルバラ、亀谷 乃里 著

国書刊行会

ボードレールにエドガー・ポーと音楽の世界を教えた影の男、シャルル・バルバラ。<知られざる鬼才>による、哲学的思考と音楽的文体、科学的着想、幻想的題材が重奏をなす全5篇の物語を収録する。

2019:8./ 297p

978-4-336-06103-4

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2019/10/06



国連事務総長～世界で最も不可能な仕事～

田 仁揆 著
中央公論新社

四半世紀にわたり国連に奉職した著者が、9人の事務総長が辿った足跡を縦糸に、彼らが異なる時代時代で直面した事案を横糸に、国連事務総長という職の可能性と限界を検証。事務総長と国連が果たしうる役割を考える。

2019:8./ 4p,322p

978-4-12-005225-5

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2019/10/06、読売新聞 2019/10/20



わたしのいるところ(CREST BOOKS)

ジュンパ・ラビリ、中嶋 浩郎 著

新潮社

歩道で、パールで、本屋で、駅で…。生まれ育ったローマと思しき町に暮らす 45 歳の「わたし」の日々の光景。親しい道連れのような孤独と、彼女の旅立ちを綴った長篇小説。

2019:8./ 166p

978-4-10-590159-2

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2019/10/06、日本経済新聞 2019/10/19、毎日新聞 2019/10/20



政治介入されるテレビ〜武器としての放送法〜(青弓社ライブラリー 98)

村上 勝彦 著

青弓社

NHK で取材と経営に関わり放送倫理・番組向上機構で放送の自律に携わった著者が、放送局の間隙を突いて規制を強めてきた政府の歴史を解説。放送の自由の出発点や、放送の自由を守るためには何が必要かを訴える。

2019:8./ 202p

978-4-7872-3457-5

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2019/10/13



奇妙な死刑囚

アンソニー・レイ・ヒントン、栗木 さつき 著

海と月社

貧しい黒人ゆえに、無実のまま死刑囚にされた著者は、狂わんばかりの怒り、絶望、恐怖の果てに、囚人らしからぬ生き方をしはじめ、奇跡を手にする。30 年近く独房に監禁された過酷な体験を綴った回想録。

2019:8./ 465p

978-4-903212-67-8

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2019/10/13



文革新受難死者 850 人の記録〜負の世界記憶遺産〜

王 友琴、小林 一美、佐々木 恵子、劉 燕子、麻生 晴一郎 著

集広舎

一党独裁 70 年の中国では、死の事実と生の記憶さえも闇に葬られるのか？ 毛沢東時代と変わらぬ政治体制下、忘却に抗して文革新受難死者 850 人を記録した書。論文、写真も収録する。

2019:7./ 561p

978-4-904213-76-6

本体 ¥5,950+税



東京・中日新聞 2019/10/13



某

川上 弘美 著

幻冬舎

名前も記憶もお金も持たない某は、丹羽ハルカ(16 歳)に擬態することに決めた。変遷し続ける<誰でもない者>はついに仲間に出会う。愛と未来をめぐる長編。『小説幻冬』連載に加筆・修正。

2019:9./ 368p

978-4-344-03504-1

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2019/10/13、読売新聞 2019/10/20



カインは言わなかった

芦沢 央 著

文藝春秋

公演直前に失踪を遂げた若きダンサー。鍵を握るのはカリスマ演出家と因縁の弟。芸術の神に魅入られた美しき男達の許されざる罪とは…。夢を追い、欲望に翻弄される人間の哀しき業に迫った慟哭ミステリー。

2019:8./ 357p

978-4-16-391069-7

本体 ¥1,650+税



東京・中日新聞 2019/10/20



神の島の死生学～琉球弧の島人たちの民俗誌～(沖縄大学地域研究所叢書)

須藤 義人 著
芙蓉書房出版

神の島の“他界観”と“死生観”がわかる本。久高島・粟国島・古宇利島など、沖縄の離島の祭り、葬送儀礼を通して、人々が生と死をどのように捉えてきたかを探る。写真も豊富に掲載。久高島の祭祀の様子を収めた DVD 付き。

2019:8./ 254p

978-4-8295-0767-4

本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2019/10/20



ジャズという何か～ジャズが追い求めたサウンドをめぐる～

原 雅明 著
DU BOOKS

新しい音楽は「ジャズという何か」から生まれている！なぜジャズは食欲に新しいサウンドを求めてきたのか？80年代以降のJAZZがわかる論考集。ジャズをめぐるサウンド史年表付き。

2018:3./ 8p,341p

978-4-86647-055-9

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2019/10/20



コミックソングが J-POP を作った～軽薄の音楽史～(ele-king books)

矢野 利裕 著
Pヴァイン

ジャズ、ロックンロールからテクノ、ヒップホップ、EDM まで、新しい音楽を「笑い」とともに受容してきた日本人。川上音二郎、トニー谷、ピコ太郎などのノヴェルティ(新奇)ソングで、日本のポピュラー音楽史をたどる。

2019:5./ 255p

978-4-909483-26-3

本体 ¥2,100+税



東京・中日新聞 2019/10/20



リズムから考える J-POP 史～Real Sound Collection～

imdkm 著
blueprint

90年代以降の「J-POPの時代」に、いかにして日本のミュージシャン、リスナー双方におけるリズムのリテラシーが構築されたかを明らかにする。『Real Sound』連載に書き下ろしを加え再構成。

2019:10./ 258p

978-4-909852-03-8

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2019/10/20



モダニズム・ミステリの時代～探偵小説が新感覚だった頃～

長山 靖生 著
河出書房新社

1920年、『新青年』創刊。そして「文藝時代」「文学時代」へ。探偵小説と新感覚派らのモダニズムとが相互乗り入れする文学シーンは可能性に満ちていた！戦間期日本の想像力を問い直す、もうひとつの文学史。

2019:8./ 301p

978-4-309-02809-5

本体 ¥3,200+税



東京・中日新聞 2019/10/27



定価のない本

門井 慶喜 著
東京創元社

終戦後ふたたび復興を遂げつつあった古書の街・神田神保町。名もなき古書店主の死をめぐる探偵行は、やがて戦後日本の闇に潜む陰謀を炙りだしていき…。長編ミステリ。『ミステリーズ!』連載を書籍化。

2019:9./ 316p

978-4-488-02803-9

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2019/10/27



ミルトン・エリクソン～魔法使いの秘密の「ことば」～

澤野 雅樹 著
法政大学出版局

その人の抱える問題の最適解を引き出すには? 医療催眠と人の意表を突く処方で知られる精神科医ミルトン・エリクソン。彼の柔軟かつ融通無碍な「ことば」の選択や使用にどんな秘密があるのか、その核心に迫る。

東京・中日新聞 2019/10/27

2019:9./ 339p,5p

978-4-588-18216-7

本体 ¥3,400+税



熱狂と幻滅～コロンビア和平の深層～

田村 剛 著
朝日新聞出版

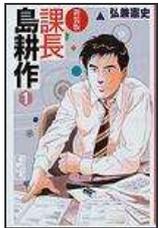
内戦終結。左翼ゲリラ FARC との和平合意に至ったコロンビアは、暴力と憎悪の連鎖から抜け出すことができるのか。平和を求め立ち上がった人々の「声」を綴った、渾身のルポルタージュ。

読売新聞 2019/10/06

2019:6./ 246p

978-4-02-251618-3

本体 ¥1,500+税



課長島耕作<1>(講談社漫画文庫)

弘兼 憲史 著
講談社

大人気の課長島耕作がボリュームアップ!スーパーサラリーマン・島耕作のサクセスストーリー、第一歩。不変の大人気作品がボリュームアップして、漫画文庫に再登場!課長時代の活躍を今またここにー

読売新聞 2019/10/06

2003:10./ 440p

978-4-06-360634-8

本体 ¥780+税



AI時代の労働の哲学(講談社選書メチエ 711)

稲葉 振一郎 著
講談社

AI が人間の仕事を奪うというのは、技術が仕事を奪うという「古くて新しい問題」。AI 化のインパクトはこれまでの機械化と同じなのか。「労働」概念自体から振り返り、資本主義そのものへの影響まで射程に入れて検討する。

読売新聞 2019/10/06

2019:9./ 216p

978-4-06-517180-6

本体 ¥1,600+税



伊藤まさこの買いものパンザイ!

伊藤 まさこ 著
集英社

買わぬは一生の後悔! 自分にぴったりのものを選び取るためには、たとえ 100 円の水にも真剣勝負。スタイリストとして、たくさんものを見てきた伊藤まさこのハンパない買いものの流儀の全てを紹介します。

読売新聞 2019/10/06

2019:8./ 119p

978-4-08-781675-4

本体 ¥1,600+税



あとは切手を、一枚貼るだけ

小川 洋子、堀江 敏幸 著
中央公論新社

かつて愛し合い、今は離ればなれに生きる「私」と「ぼく」。2 人を隔てた、取りかえしのつかない出来事。14 通の手紙に編み込まれた哀しい秘密とは…。『アンデル小さな文芸誌』連載を単行本化。

読売新聞 2019/10/06

2019:6./ 292p

978-4-12-005205-7

本体 ¥1,600+税





立て直す力(中公新書ラクレ 666)

上田 紀行 著
中央公論新社

自分には価値がない、何をしたいのかわからない…。苦悩を抱えて生きる人に向けて、宗教のもつ本来の力、一歩前に進める力、元気づける力を、ドラマ14世や仏教思想家・鈴木大拙などの言葉を交えながら紹介する。

2019:9./ 206p
978-4-12-150666-5

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/10/06



オーケストラ楽器別人間学 決定版(中公文庫 も 27-5)

茂木 大輔 著
中央公論新社

あなたの運命は選んだ楽器が決めていた! 楽器と性格の関係を、N 響首席オーボエ奏者が爆笑的にプロファイリングする禁断の音楽書。「オーケストラ周辺の人々学」などを増補。巻末に二ノ宮知子のマンガつき。

2018:7./ 310p
978-4-12-206618-2

本体 ¥800+税



読売新聞 2019/10/06



奇跡のチーム〜ラグビー日本代表、南アフリカに勝つ〜(文春文庫 い 98-2)

生島 淳 著
文藝春秋

2015年ラグビーW杯。エディー・ジョーンズ率いる日本代表は、強豪南アフリカを相手に逆転勝ちを収めた。エディー・ジャパンはなぜ日本ラグビーの歴史を変えることができたのか。徹底取材を通して、その理由を解き明かす。

2019:9./ 268p
978-4-16-791357-1

本体 ¥710+税



読売新聞 2019/10/06



夢もまた青し〜志村の色と言葉〜

志村 ふくみ、志村 洋子、志村 昌司 著
河出書房新社

染めること、織ること、祈ること。人間国宝・志村ふくみ、娘の洋子と孫の昌司。親子三代がそれぞれの個性を響き合わせながら、染織に込める思いを綴る。

2019:8./ 189p
978-4-309-02823-1

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2019/10/06



大岡昇平の時代

湯川 豊 著
河出書房新社

「俘虜記」に始まり、「昭和末」で終わる。時に厳しく、時に不器用に、全身を「文学」に捧げた作家、大岡昇平。昭和という時代を背負った真の文学者の生涯を辿り、その覚悟に迫る。『文藝』連載を加筆修正の上、改題。

2019:9./ 305p
978-4-309-02824-8

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/10/06



人生最後のご馳走〜淀川キリスト教病院のリクエスト食〜(幻冬舎文庫 あ-73-1)

青山 ゆみこ 著
幻冬舎

淀川キリスト教病院ホスピス緩和ケア病棟では、週に一度、患者が希望する食事が振る舞われる。臨終の間際によみがえる美味しい気憶と、患者を支える家族、医師、スタッフの想いをていねいに紡いだ「リクエスト食」の物語。

2019:9./ 174p
978-4-344-42887-4

本体 ¥600+税



読売新聞 2019/10/06



どんな肉でも旨くする～サカエヤ新保吉伸の全仕事～

新保 吉伸 著
世界文化社

どんな肉でも旨くすることで、東西の人気シェフから圧倒的な支持を受ける孤高の肉職人が、その精肉や熟成の独自の考え方と、そこに至った足取りを明らかにする。マッキー牧元との対談も収録する。

2019:7./ 199p
978-4-418-19318-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/10/06



世界図書館遺産～壮麗なるクラシックライブラリー23選～

ギヨーム・ド・ロビエ、ジャック・ボセ、遠藤 ゆかり 著
創元社

フランスの建築写真の第一人者が、ヨーロッパを中心に世界 12 カ国、計 23 の由緒ある図書館を巡り、絢爛豪華な空間・意匠を約 200 点の美しい写真に収める。それぞれの図書館の成り立ちや歴史をひもとく解説も収録。

2018:5./ 247p
978-4-422-31107-4

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2019/10/06



脱毛の歴史～ムダ毛をめぐる社会・性・文化～

レベッカ・M.ハージグ、飯原 裕美 著
東京堂出版

体毛は誰にとって、どういった点で問題になるのか。脱毛とそれを取り巻く背景について、資料を辿りながら、歴史・社会・政治・経済などの様々な絡み合いを紹介し、明らかにする。

2019:7./ 343p
978-4-490-21014-9

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/10/06



自衛隊員はトイレトペーパーを「自腹」で買う(扶桑社新書 310)

小笠原 理恵 著
扶桑社

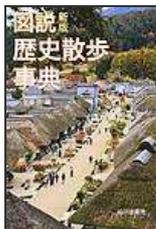
災害派遣や PKO 活動を通じ、多くの国民から尊敬される自衛隊員。だが彼らは、予算不足で制服も装備も弾薬も足りない現状を耐え忍び…。気鋭の国防ジャーナリストが自衛隊の実態を伝える。『日刊 SPA!』連載を書籍化。

2019:9./ 239p
978-4-594-08288-8

本体 ¥840+税



読売新聞 2019/10/06



図説歴史散歩事典 新版

佐藤 信 編
山川出版社

遺跡や遺物といった史跡、寺社、町並みと住宅、仏像・神仏、絵画、書跡・典籍・古文書といった美術工芸品などの見方を、豊富な写真や図版とともにやさしく解説。暦と時刻、度量衡、年代表などの資料も充実。

2019:8./ 439p
978-4-634-59119-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/06



世界で一番美しい劇場

エクスマレッジ

数々の名作が初演されたイタリア・オペラの総本山、スカラ座。ドイツ最大級のミュージカルスポット、ノイエ・フローラ劇場…。世界の美しい劇場を「オペラハウス」「シアター」「コンサートホール」に分けて写真で紹介する。

2015:1./ 159p
978-4-7678-1921-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/06



定本宮本から君へ<1>

新井 英樹 著
太田出版
読売新聞 2019/10/06

2009:1./ 750p
978-4-7783-2075-1
本体 ¥1,480+税

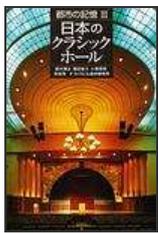


北欧に学ぶ好きな人ができたら、どうする?

アンネッテ・ヘアツォーク、カトリーネ・克蘭テ、ラスムス・ブラインホイ、枇谷 玲子 著
晶文社
ヴィオラとストームは、お互いのことが気になっている。自分の感情や体になにが起こってるの? 性にまつわる心と体の問題をさまざまな角度から学べる。前からは女子、後ろからは男子の視点でストーリーが展開する。

2019:9./ 63p,63p
978-4-7949-7100-5
本体 ¥1,750+税

読売新聞 2019/10/06



都市の記憶<3> 日本のクラシックホール

白揚社
市民のための公会堂や劇場、学び舎の講堂、議事堂…。魅惑のクラシックホールを多数紹介。都市における建物の価値や活用保存の知恵についても論じる。240 ページのカラー写真と現存近代化建築遺産の最新版完全リストを収録。

2007:6./ 316p
978-4-8269-0137-6
本体 ¥3,500+税

読売新聞 2019/10/06

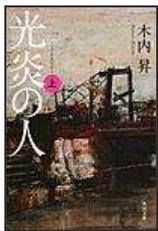


野外彫刻との対話(文化とまちづくり叢書)

西山 重徳、井口 勝文、さとう あきら 著
水曜社
野外彫刻の本質、それらが現在日本で置かれている状況等を、生活空間の装飾、モニュメントとしての彫刻の現代における意味、野外彫刻と人との関係という3つの観点から考える。

2019:9./ 157p
978-4-88065-466-9
本体 ¥2,200+税

読売新聞 2019/10/06



光炎の人<上>(角川文庫 き44-1)

木内 昇 著
KADOKAWA
日露戦争の行方に国内の関心が集まっていたころ。徳島の貧しい農家に生まれた少年は、電気の可能性に魅せられていた。電気は必ず世を変えるという確信を胸に、少年は大阪へ渡る決心をする…。

2019:9./ 436p
978-4-04-108211-9
本体 ¥840+税

読売新聞 2019/10/06、朝日新聞 2019/10/12

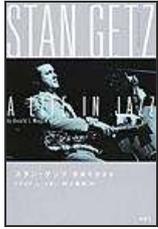


光炎の人<下>(角川文庫 き44-2)

木内 昇 著
KADOKAWA
大阪の工場ですべてを技術開発に捧げた音三郎は、製品化という大きなチャンスを手にする。だが、それは無惨にも打ち砕かれてしまう。東京へ移った彼は、無線開発の分野で頭角をあらわすが…。

2019:9./ 423p
978-4-04-108212-6
本体 ¥840+税

読売新聞 2019/10/06、朝日新聞 2019/10/12



スタン・ゲッツ～音楽を生きる～

ドナルド・L.マギン、村上 春樹 著
新潮社

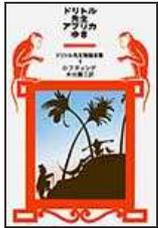
どんな苦境でも、彼の音色は限りなく美しい。ボサノヴァなど新しいスタイルを常に取り入れ、第一線で半世紀近く活躍したテナー・サクソフォンの巨匠、スタン・ゲッツ。依存症、家庭内暴力など、熾烈な人生の業に迫る評伝。

読売新聞 2019/10/06、日本経済新聞 2019/10/12

2019:8./ 575p,12p

978-4-10-507131-8

本体 ¥3,200+税



ドリトル先生アフリカゆき 改版(ドリトル先生物語全集)

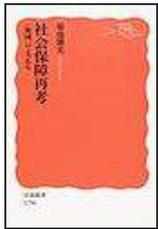
ロフティン グ 著
岩波書店

読売新聞 2019/10/13

1986:1./ 247p

978-4-00-115001-8

本体 ¥1,600+税



社会保障再考～<地域>で支える～(岩波新書 新赤版 1796)

菊池 馨実 著
岩波書店

社会的に孤立したり、生活に困窮している人への各地での「相談支援」が、新たな可能性を育んでいる。その実践を明らかにし、法律や社会保障制度のなかに位置づけながら、その先にある新たな<地域>づくりにも注目する。

読売新聞 2019/10/13

2019:9./ 11p,224p

978-4-00-431796-8

本体 ¥820+税



小公女(角川文庫)

フランシス・エリザ・バーネット 著
角川書店

読売新聞 2019/10/13

1992:6./ 294p

978-4-04-214402-1

本体 ¥456+税



45～ここだけの話～(講談社文庫 な 76-6)

長野 まゆみ 著
講談社

カフェで偶然見かけた男が呼び起こす、過去の苦い記憶。通学バスで繰り返されるなぞなぞの連鎖…。ありふれた光景のなかに、ありふれていない事情がある。謎が響きあう9つの物語。

読売新聞 2019/10/13

2019:8./ 263p

978-4-06-515611-7

本体 ¥630+税



アタラクシア

金原 ひとみ 著
集英社

望んで結婚したはずなのに、どうしてこんなに苦しいのだろう。擦り切れた愛。暴力の気配。果てのない仕事。そして、新たな恋-。ままならない結婚生活の中、救いを求めてもがく男女を描いた長編。『すばる』連載を書籍化。

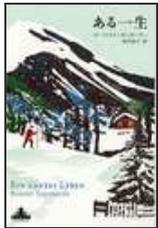
読売新聞 2019/10/13

2019:5./ 293p

978-4-08-771184-4

本体 ¥1,600+税





ある一生(CREST BOOKS)

ローベルト・ゼーターラー 著
新潮社

20 世紀初頭、幼くして母を亡くし、アルプスの農場主のもと過酷な労働をしいられて育ったアンドレアス・エッガーはある日、雪山で瀕死のヤギ飼いと出会い、「死ぬときは氷の女に会おう」と告げられ…。恩寵に満ちた物語。

2019:6./ 153p

978-4-10-590158-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/10/13



秋吉敏子と渡辺貞夫(新潮新書 826)

西田 浩 著
新潮社

ジャズとの出会い、アメリカでの修業、そして世界的ミュージシャンとしての栄光。戦後日本ジャズ史に重なる秋吉敏子と渡辺貞夫の人生を、本人たちへの長年の取材を基に描き出す。ペギー葉山らレジェンドたちの証言も満載。

2019:8./ 183p

978-4-10-610826-6

本体 ¥720+税



読売新聞 2019/10/13



古事記の研究(中公文庫 お41-5)

折口 信夫 著
中央公論新社

昭和 9 年と 10 年に長野県下伊那郡教育会で行われた 3 つの講義「古事記の研究」(1・2)と「万葉人の生活」を収める。「古事記研究の初歩」と折口信夫自身が呼ぶ一般向けの入門講義を文庫化。

2019:9./ 347p

978-4-12-206778-3

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/10/13



NHK E テレで学びなおす日々変わりゆく「世界のいま」に 10 分で追いつく<現代社会>

NHK「アクティブ 10 公民」制作班 編
NHK出版

少子高齢化で日本はようになる？ 内閣の役割とは？ 仮想通貨って信用できる？ 中学・公民で、これからの社会に必要な「問題意識」の高め方を紹介する。書き込みページあり。

2019:7./ 205p

978-4-14-081782-7

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/10/13



ボーダー二つの世界(Hayakawa Bunko NV 1458)

ヨン・アイヴィデ・リンドクヴィスト、山田 文 著
早川書房

罪や不安を嗅ぎ分ける能力を持つティナーが出会う、新しい世界とは。2019 年 10 月公開映画原作である表題作のほか、「MORSE-モールス-」番外編の「古い夢は葬って」など、現実と異界の境界を問う全 11 編を収録。

2019:9./ 659p

978-4-15-041458-0

本体 ¥1,280+税



読売新聞 2019/10/13



アン青春(文春文庫 モ4-2)

L.M.モンゴメリ 著
文藝春秋

アン 16 歳、プリンス・エドワード島の教師に。ギルバートと村の改善協会を作り、マリラが引きとった双子を育て、夢を抱いて誠実に生きる。英文学からの引用を解説。日本初の全文訳・訳註付き。

2019:9./ 521p

978-4-16-791359-5

本体 ¥710+税



読売新聞 2019/10/13



ラグビーまあまあおもしろい! ~あなたの知らない楕円球の世界~ (潮新書 028)

大畑 大介 著

潮出版社

ラグビーには「複雑」「難しい」「痛そう」といったイメージを凌駕するだけの“魅力”がある。ラグビーの基礎知識やルール、ラグビーという競技が持つ精神性、2019年に開催されるW杯について解説。中川家との対談も収録。

2019:9./ 204p

978-4-267-02196-1

本体 ¥900+税



読売新聞 2019/10/13



ラストダンスは私に ~岩谷時子物語~

村岡 恵理 著

光文社

越路吹雪のマネージャーであり、加山雄三やザ・ピーナッツほかの大ヒット曲を作詞した岩谷時子。関係者への詳細な取材と、貴重な資料をもとに、著者の想像も多分に加味しながら彼女の生涯を描く。

2019:7./ 386p

978-4-334-95108-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/10/13



教師人生

フランク・マコート、豊田 淳 著

国書刊行会

教師としての赴任初日、生徒がサンドイッチを放り投げた。さて、こいつをどうするか? 多感なアメリカのティーンエイジャーを相手に奮闘した 30 年の教師人生を、悲喜こもごもを交えて綴ったユーモアたっぷりの名作。

2019:7./ 355p

978-4-336-06307-6

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/10/13



JR ~JR FAMILY OF COMPANIES~

ウィリアム・ギャディス 著

国書刊行会

11 歳の少年 JR が企業グループを築いてアメリカ株式市場に参入。だが間もなく彼の手に負えなくなり、コングロマリットと化し大暴走。数多の企業や人々を巻き込み、世界経済に大波乱を巻き起こし...! 金融ブラックコメディ。

2018:12./ 939p

978-4-336-06319-9

本体 ¥8,000+税



読売新聞 2019/10/13



北朝鮮と観光

礒崎 敦仁 著

毎日新聞出版

観光で読み解く、金正恩政権の実態。日本人観光客の受け入れが始まった 1987 年以降、とりわけ金正日政権期と金正恩政権初期の北朝鮮観光がいかなるものであったかを、主に日本と北朝鮮で公開された多様な資料をもとに描く。

2019:7./ 220p

978-4-620-32593-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/10/13



私のイラストレーション史 ~1960-1980~

南 伸坊 著

亜紀書房

あの頃、イラストレーションという言葉には魔法がかかっていた。小 6 から『ガロ』編集長時代まで、南伸坊が 1960?1980 年に目撃した日本のイラストレーション史を綴った、自伝エッセイ。『あき地』連載に加筆修正。

2019:5./ 284p

978-4-7505-1578-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/13



徂徠学の思想圏

中村 春作 著
ペリかん社

人もの/世界を「活物」として看ることを説いた江戸中期の儒学者・荻生徂徠。彼の「ことば」の魅力を探り、徂徠学の構想・方法・世界認識を明快に論じた本格的入門書。

2019:8./ 300p

978-4-8315-1544-5

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2019/10/13



忘れぬ人たち～「残留婦人」との出会いから～

神田 さち子 著
日本僑報社

伝え聞いた日中の歴史、知らなかった戦争の事実-。中国残留婦人の半生を描いたひとり芝居「帰ってきたおばあさん」を 1996 年以来、日本・中国各地で公演してきた女優・神田さち子が、公演記録や出会いの数々を点綴する。

2019:9./ 164p

978-4-86185-282-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/13



人形(ポーランド文学古典叢書 7)

ボレスワフ・プルス 著
未知谷

19 世紀の社会史を一望に収めるリアリズムと、破滅的な情熱のロマンが交錯する-。近代ポーランド語文学を代表する評論家・小説家ボレスワフ・プルスによる傑作小説。

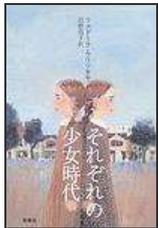
2017:11./ 1235p

978-4-89642-707-3

本体 ¥6,000+税



読売新聞 2019/10/13



それぞれの少女時代(群像社ライブラリー)

リュドミラ・ウリツカヤ 著
群像社

体と心の変化に気づきながら、性への好奇心をもてあましぎみに、大人の世界に近づいていく、ちょっとおませな同級生の女の子たち。いまロシアで最も愛されている女性作家が、素顔の少女たちを描いた連作短編集。

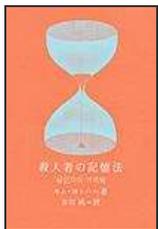
2006:7./ 215p

978-4-903619-00-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/13



殺人者の記憶法(新しい韓国の文学 17)

キム ヨンハ、吉川 凧 著
クオン

元獣医ビヨンスの裏の顔は、殺人犯だった。偶然出会った男が連続殺人犯だと直感し、次の狙いが愛娘だと確信した彼は、認知症により混濁していく記憶力と格闘しながら最後の殺人を企てる。2018 年 1 月公開映画の原作小説。

2017:10./ 167p

978-4-904855-64-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/10/13



カステラ

パク ミンギョ、ヒョン ジェフン、斎藤 真理子 著
クレイン

1985 年、UEFA チャンピオンズカップ決勝戦、リヴァプール対ユベントス。ヘイゼルの悲劇から、物語は始まる-。表題作をはじめ韓国最高の文学賞“李箱賞”受賞作「朝の門」など全 11 編を収録した短編小説集。

2014:4./ 336p

978-4-906681-39-6

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/10/13



メシュガー

アイザック・B.シンガー、大崎 ふみ子 著
吉夏社

常に死を意識しながらも新たな生を模索するユダヤ難民たち。作家アロンは、その中の一人、ミリアムに強く惹かれる。やがて彼女の<暗黒>の過去が暴かれ...。著者が自らの作家人生をリアルに織り込みながら描く最晩年の長篇。

読売新聞 2019/10/13

2016:12./ 334p
978-4-907758-25-7

本体 ¥2,600+税



書店本事～台湾書店主 43 のストーリー～

サウゼンブックス社

読書離れや出版不況の続く台湾では、独立書店と呼ばれる個人経営の町の本屋が元気だ。個性あふれる店主たちを 43 篇の文章で活写する。ショート・ドキュメンタリー集「書店の詩」を視聴できる QR コードも収録。

読売新聞 2019/10/13

2019:6./ 432p
978-4-909125-12-5

本体 ¥2,600+税



昭和 40 年男～オリンポスの家族～

佐川 光晴 著
ホーム社

昭和 40 年生まれで元体操日本代表の主夫・三男が家族のために奮闘!? オリンピックを舞台に昭和から平成、そして令和へと時代をつなぐ、心温まる家族小説。『日刊ゲンダイ』連載を加筆し単行本化。

読売新聞 2019/10/13、産経新聞 2019/10/20

2019:9./ 217p
978-4-8342-5331-3

本体 ¥1,600+税



真夜中の陽だまり～ルポ・夜間保育園～

三宅 玲子 著
文藝春秋

認可夜間保育園はなぜ増えないのか。深夜子どもを預けて飲食店や風俗などで働く親と、その親を支える保育に取り組んできた福岡の「どろんこ保育園」を長期にわたり密着取材。そのありようを紹介する。

読売新聞 2019/10/13、産経新聞 2019/10/20、毎日新聞 2019/10/27

2019:9./ 231p
978-4-16-391095-6

本体 ¥1,500+税



アメリカはなぜ戦争に負け続けたのか～歴代大統領と失敗の戦後史～

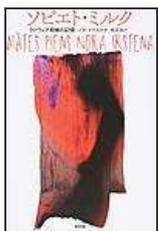
ハーラン・ウルマン 著
中央公論新社

ケネディのベトナム戦争からブッシュの対テロ戦争、トランプの登場まで、過去 60 年間のアメリカの武力行使のなかでも重要な意味を持つ事例を分析。軍事行動の決断を下すための効果的な枠組みが不可欠であることも論じる。

読売新聞 2019/10/13、日本経済新聞 2019/10/26

2019:8./ 4p,347p
978-4-12-005224-8

本体 ¥3,200+税



ソビエト・ミルク～ラトヴィア母娘の記憶～

ノラ・イクステナ、黒沢 歩 著
新評論

バルト海の東に位置し、何世紀もの間、近隣に支配されてきたラトヴィア。ソ連体制下に生きて自由を求めた母娘の行く末は...。バルトの道、ベルリンの壁崩壊を経て、独立へ向かう道程を辿る、知られざるラトヴィアの母娘の物語。

読売新聞 2019/10/13、毎日新聞 2019/10/13

2019:9./ 8p,266p
978-4-7948-1133-2

本体 ¥2,000+税





行動経済学の使い方(岩波新書 新赤版 1795)

大竹 文雄 著
岩波書店

研究と応用が進み、いまや「使う」段階にきている行動経済学。その考え方をわかりやすく解説し、行動経済学を使ったナッジの作り方と、仕事、健康、公共政策における具体的な応用例を紹介する。

2019:9./ 10p,201p,23p
978-4-00-431795-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/10/20



欧米人の見た開国期日本～異文化としての庶民生活～(角川ソフィア文庫 I304-1)

石川 榮吉 著
KADOKAWA

開国期の日本は欧米人にどう映ったのか? モース、シーボルトら幕末・明治期に訪日した欧米人たちが好奇・蔑視・賛美などの視点で綴った滞在記を広く集め、庶民たちの当時の暮らしを活写。異文化理解の本質に迫る比較文明論。

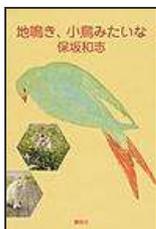
2019:9./ 297p

978-4-04-400534-4

本体 ¥960+税



読売新聞 2019/10/20



地鳴き、小鳥みたいな保坂和志

保坂 和志 著
講談社

夏。K先生の訃報。若い友人の死。20代で出会ったある先生との忘れがたい対話。枯れて見えたその先生から聞かされた性欲をめぐる話が意外で…。記憶の体感を綴る4篇。『群像』他掲載を単行本化。

2016:10./ 216p

978-4-06-220287-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/10/20



ポー傑作集～江戸川乱歩名義訳～(中公文庫 ホ 3-3)

エドガー・アラン・ポー 著
中央公論新社

渡辺兄弟によって翻訳され、江戸川乱歩の名義で刊行されたゴシック風名訳を文庫化。江戸川乱歩「渡辺温」、谷崎潤一郎「春寒」のほか、渡辺東によるエッセイ、浜田雄介による解説も収録する。

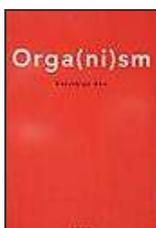
2019:9./ 471p

978-4-12-206784-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/10/20



オーガ<ニ>ズム

阿部 和重 著
文藝春秋

阿部和重邸に、アメリカから瀕死の諜報部員が転がり込んだ。アメリカ大統領に迫る核テロの危機。CIA ケースオフィサーと阿部は、世界を破滅させる陰謀を阻止できるのか…。神町シリーズ最終章。『文學界』連載を書籍化。

2019:9./ 861p

978-4-16-391097-0

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2019/10/20



教科書では教えてくれないゆかいな語彙力入門(河出文庫 こ 24-2)

今野 真二 著
河出書房新社

場面に応じたことばが「すつと」でてくるためにはどうしたらよいか。日本語の成り立ちから、手持ちの語を生かす「ひも付け」という方法、辞書の使いかた、語彙力を豊かにする「ほんとうの王道」までを紹介する。

2019:8./ 193p

978-4-309-41701-1

本体 ¥740+税



読売新聞 2019/10/20



『ハuckleberry・フィンの冒けん』をめぐる冒けん

柴田 元幸 著

研究社

「ハuckleberry・フィンの冒けん」とはどんな本なのか、どう読むのかを解説し、「ハック・フィン続篇」ともいべき作品群を紹介。編集段階で削除された「ジムのユウレイ」と、多くの版で省かれる「筏のエピソード」も掲載。

2019:10./ 166p

978-4-327-48168-1

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/10/20



なぜ女はメルカリに、男はヤフオクに惹かれるのか?~アマゾンに勝つ!日本企業のすごいマーケティング~(光文社新書 1019)

田中 道昭、牛窪 恵 著

光文社

アマゾン分析の第一人者と、トレンド研究の第一人者が、「いまさら聞けない」基本的手法から有望な日本企業の戦略、最新情報や技術まで、マーケティングの秘策を徹底解説。「進化するアマゾン」も分析する。

2019:8./ 385p

978-4-334-04427-5

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/10/20



カルメン/タマンゴ(光文社古典新訳文庫 KAメ2-1)

メリメ 著

光文社

純粋で真面目な青年ドン・ホセは、カルメンの虜となり、嫉妬にからめとられていく。軍隊を抜け悪事に手を染めるようになったホセは...。「カルメン」と、黒人奴隸船を襲った反乱の惨劇を描いた「タマンゴ」を収録。

2019:8./ 238p

978-4-334-75407-5

本体 ¥840+税



読売新聞 2019/10/20



<図説>世界の陰謀・謀略論百科

デヴィッド・サウスウェル、グレイム・ドナルド、内田 智穂子 著

原書房

JFK 暗殺、ダイアナ妃の事故、新世界秩序、秘密結社、9.11...。陰謀説や不可解な事件、隠蔽された出来事、主要な諜報機関、衝撃的な事件を取り上げて、重大な証拠や容疑者、黒幕、異説などを検証する。

2019:9./ 526p

978-4-562-05676-7

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2019/10/20



文学に描かれた「橋」~詩歌・小説・絵画を読む~(平凡社新書 922)

磯辺 勝 著

平凡社

誰もが抱く橋への思い。これまでに著者が読んできた詩歌、小説などを通じて橋の記憶を掘り起こしつつ、橋の描かれた絵画の話題なども交えながら、人々にとって橋とはどのようなものだったのかを描く。

2019:9./ 237p

978-4-582-85922-5

本体 ¥880+税



読売新聞 2019/10/20



熊谷守一~目に見えないものを~(ミネルヴァ日本評伝選)

古川 秀昭 著

ミネルヴァ書房

見えないものを描く、無形の領域を描く。死に出会うことで、逆に生きることとは何かを追い求めた熊谷守一。その創造の源泉は何か。なぜ作品に生命力はやどるのか。周辺史料、作品、関係者の証言から解き明かす。

2019:9./ 11p,259p,8p

978-4-623-08740-2

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/10/20



開発と考古学～市ヶ尾横穴群・三殿台遺跡・稲荷前古墳群の時代～

田中 義昭 著
新泉社

高度経済成長期の神奈川県横浜市。開発が進むなか、遺跡を保護し地域の歴史を明らかにしようと奮闘した研究者たちがいた。考古学の道を歩んだ著者が、みずからの試行錯誤の考古学行路とともに、先駆者たちの姿を描く。

2019:6./ 445p
978-4-7877-1909-6

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2019/10/20



復興文化論～日本的創造の系譜～

福嶋 亮大 著
青土社

日本文化に創造性が満ち溢れるのは、どういう時期なのか？ 柿本人麻呂、空海、上田秋成、村上春樹、宮崎駿などをあげ、過去の<戦後>に発生したいくつかの言葉とイメージを収集・検証・再編集し、日本的創造の系譜に迫る。

2013:10./ 413p,7p
978-4-7917-6733-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/10/20



「生類憐みの令」の真実

仁科 邦男 著
草思社

20 数年もの間、生類憐みの令を出し続けた徳川 5 代将軍綱吉。あらゆる動物への慈愛を説き、その理念と実践を人々に強要したが、なぜそこまで過剰な行為に走ったのか。生類憐みの全法令をつぶさに検証し、綱吉の心の闇に迫る。

2019:9./ 303p
978-4-7942-2413-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/20



シニアのための島旅入門(わたしの旅ブックス 014)

斎藤 潤 著
産業編集センター

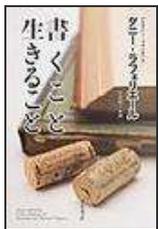
40 年以上、島を巡り歩き、日本の有人離島をほとんど踏破した島の達人によるシニア向けの島旅入門書。島の魅力にとりつかれるきっかけとなった 4 つの島旅のほか、行きたてホヤホヤの島旅紀行、島旅のイロハやヒントも紹介。

2019:7./ 367p
978-4-86311-234-6

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2019/10/20



書くこと生きること～ベルナール・マニエとの対話～

ダニー・ラフェリエール、小倉 和子 著
藤原書店

生い立ち、移民の境遇、執筆にまつわる逸話…。黒人作家という“レッテル”を鮮やかに転倒してみせた作家ラフェリエール。その著作の全容を的確に把握するジャーナリスト、ベルナール・マニエとの対話をまとめた自伝。

2019:9./ 395p
978-4-86578-234-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/10/20



TOBIKERA～小檜山賢二写真集～

小檜山 賢二 著
クレヴィス

チョウヤガに似た昆虫トビケラ。水中で生活する芋虫型のトビケラ幼虫は、口から吐く糸を用いてさまざまな形の巣を作る。落ち葉や枝、砂など、トビケラ幼虫がいろいろな材料を用いて作った作品(巣)の写真を収録。

2019:7./ 127p
978-4-909532-29-9

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2019/10/20



戦国大名・伊勢宗瑞(角川選書 624)

黒田 基樹 著
KADOKAWA

「北条早雲」の名で知られ、「大器晩成の典型」等と評されてきた後北条氏の初代・伊勢宗瑞。最新の研究成果をもとに、新しい政治権力となる「戦国大名」がいかんにして構築されたのかを明らかにしつつ、伊勢宗瑞の全体像を描く。

2019:8./ 264p
978-4-04-703683-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/10/27



月下の犯罪〜一九四五年三月、レヒニッツで起きたユダヤ人虐殺、そして或るハンガリー貴族の秘史〜(講談社選書メチエ 707)

サーチャ・バッチャーニ、伊東 信宏 著
講談社

1945年3月24日の晩、オーストリアの村レヒニッツで180人のユダヤ人が惨殺された。パーティの主催者は著者の大叔母だった。彼女の関与はあったのか? 事件の真相に迫っていくノンフィクション。

2019:8./ 294p
978-4-06-516855-4

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2019/10/27



ビッグデータ探偵団(講談社現代新書 2539)

安宅 和人、池宮 伸次、Yahoo!ビッグデータレポートチーム 著
講談社

「頭が痛い日本人」が最も多い時刻は17時。音楽CDが売れるとサバの漁獲量も増える…。ヤフーの多彩なサービスを通じて蓄積された膨大な「マルチビッグデータ」を活用し、データの面白さとそのパワーをわかりやすく伝える。

2019:9./ 220p
978-4-06-517314-5

本体 ¥900+税



読売新聞 2019/10/27



ONE PIECE 勝利学(集英社文庫 や 57-1)

山田 吉彦 著
集英社

「ONE PIECE」が教える、人生の意味、友情の価値、そして人生に勝利する方法! 海洋経済学者が、キャラクター分析、実在した海賊たちのエピソードを織り込みながら、世界的人気コミックを読み解く。

2019:9./ 201p
978-4-08-744023-2

本体 ¥540+税



読売新聞 2019/10/27



かわいい見聞録

益田 ミリ 著
集英社

さくらんぼ、雪だるま、シジミ貝、シャーペンの芯、毛玉、輪ゴム…。日常のなかの王道&意外な30個の「かわいい」を集め、そのヒミツを探るコミック&エッセイ。集英社WEB文芸『レンザブロー』連載を加筆し単行本化。

2019:7./ 160p
978-4-08-771194-3

本体 ¥1,250+税



読売新聞 2019/10/27



たとえる技術(新潮文庫 せ-18-1)

せきしろ 著
新潮社

他人とは違うたとえを入れることにより、差別化を図り、独自性を出すことができる! 豊かな文章力と圧倒的なユーモアに定評のある作家、せきしろが、表現力がいきなり飛躍する技術を紹介する。

2019:10./ 243p
978-4-10-101571-2

本体 ¥490+税



読売新聞 2019/10/27



人生の諸問題五十路越え

小田嶋 隆、岡 康道、清野 由美 著
日経BP社

入院、引きこもり、あいつの出世…。同じ高校の釜の飯を喰った CM プランナーとコラムニストが、50 歳からの「悩まない生き方」について語る。『日経ビジネスオンライン』連載を加筆し単行本化。

2019:7./ 383p

978-4-296-10309-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/10/27



句と絵で綴る余白の時間(とき)

松本 白鸚 著
春陽堂書店

「いまこの瞬間」を感じることが何よりも好きです。喜寿を迎えた二代目松本白鸚がこれまでに詠んだ句、綴ったエッセイ、直筆の書画をまとめる。金子兜太、千住博との対談も収録。

2019:10./ 166p

978-4-394-90360-4

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/10/27



人口減少社会のデザイン

広井 良典 著
東洋経済新報社

借金の先送り、格差拡大、社会的孤立の進行。2050 年、日本は持続可能か？日立京大ラボの AI による未来シミュレーションをもとに、財政・社会保障から環境・資源まで、日本が持続可能であるための条件や政策を提言する。

2019:9./ 315p

978-4-492-39647-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/10/27



懐良親王～日にそへてのかれんとのみ思ふ身に～(ミネルヴァ日本評伝選)

森 茂暁 著
ミネルヴァ書房

南朝の皇子と在地武士との邂逅が拓く、九州平野に興隆した中世史の深淵。後醍醐天皇の皇子として征西大將軍に任ぜられた懐良親王の生涯をたどりつつ、南朝を強力に支えた九州の南北朝時代の特質を描き出す。

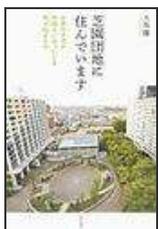
2019:8./ 13p,342p,5p

978-4-623-08741-9

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2019/10/27



芝園団地に住んでいます～住民の半分が外国人になったとき何が起きるか～

大島 隆 著
明石書店

日本人と外国人が同じ場所で暮らすとき、何が起きるのか。住民にはどのような感情が生まれるのか。住民の半数余りが外国人、そのほとんどを中国人が占める埼玉県川口市の芝園団地で暮らす、ひとりの住民の記録。

2019:10./ 233p

978-4-7503-4894-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/10/27



瞠目笑～天地万象をネタにした珍笑話集～

林家 彦いち 著
パイインターナショナル

時の政権、経済、社会問題、文化、芸能、風俗、流行、話題の人…。林家彦いちが TBS ラジオ「久米宏ラジオなんですけど」のコーナーで披露した創作小噺 63 本をまとめる。久米宏の寄稿文、構成作家によるコラムも収録。

2019:10./ 360p

978-4-7562-5284-5

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2019/10/27



時限感染(宝島社文庫 このミス大賞 C い-15-2)

岩木 一麻 著
宝島社

ウイルス研究者の首なし死体の側に、寒天状の謎の物質と、バイオテロを予告する犯行声明が残されていた。社会が生物兵器の脅威に晒される中、捜査一課のキレ者変人刑事・鎌木は、犯人の手がかりを追いかけるが...

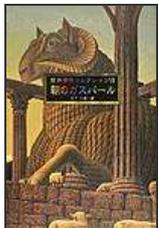
2019:9./ 342p

978-4-8002-9805-8

本体 ¥680+税



読売新聞 2019/10/27



筒井康隆コレクション<7> 朝のガスパール

筒井 康隆、日下 三蔵 編
筒井 康隆 著
出版芸術社

新刊として入手困難な筒井康隆の長篇および連作短篇集を、関連作品や資料、単行本・文庫未収録短篇などを加えて集成。7 は、長篇 2 作品をそれぞれ真鍋博、手塚治虫のイラスト全点とともに収録。リレー小説等も掲載。完結。

2017:11./ 607p

978-4-88293-479-0

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/10/27



ちゃぶ台〜ミシマ社の雑誌〜<Vol.5> 宗教×政治号

ミシマ社

「ぼくらの宗教」「みんなのアナキズム」を特集。実態としてすでに「無政府状態」に近い環境で、宗教はどういう役割を果たせるのか？ 政治はどうなるのか？ 短編小説、エッセイ、対談などを収録。背表紙なし糸綴じ。

2019:10./ 221p

978-4-909394-28-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/10/27



子ども哲学ハンドブック〜自由に考え、自由に話す場の作り方〜

子ども哲学おとな哲学アーダコーダ 著
アルパカ

子ども哲学をイベントとして開催する際のポイント、子ども哲学の進め方、子ども哲学におけるファシリテーターの役割と哲学の問いを子どもと一緒に探求し深めていくためのコツを紹介する。

2019:8./ 119p

978-4-910024-00-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/10/27



掃除婦のための手引き書〜ルシア・ベルリン作品集〜

ルシア・ベルリン、岸本 佐知子 著
講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から 10 年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24 篇をよりすぐって収録する。

2019:7./ 317p

978-4-06-511929-7

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/10/05



ききりんご紀行(集英社文庫 た 33-24)

谷村 志穂 著
集英社

サンふじと有袋ふじの違いって？ りんごの“お父さん”“お母さん”とは？ 蜜に秘密が？ 北大農学部出身の恋愛小説家が、約 30 種のりんごを食べ比べ！ 文系理系の両視点から、りんごの魅力を綴る。

2019:9./ 193p

978-4-08-744027-0

本体 ¥580+税



日本経済新聞 2019/10/05



続 マツハの恐怖(新潮文庫)

柳田邦男 著
新潮社
日本経済新聞 2019/10/05

1986:11./ 561p
978-4-10-124906-3
本体 ¥857+税



真面目にマリファナの話しよう

佐久間 裕美子 著
文藝春秋
マリファナ合法化にいたるまでのアメリカの歴史といまを追ったノンフィクション。
マリファナ観光からマリファナ栽培学校まで、世界を席捲する 4 兆円の巨大市場「グリーン・ラッシュ」の最前線に迫る。

2019:8./ 221p
978-4-16-391074-1
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2019/10/05



森があふれる

彩瀬 まる 著
河出書房新社
作家・埜渡徹也の妻・琉生は、突然、大量の植物の種を飲み、倒れる。翌日、彼女の毛穴から皮膚を突き破って出てきた芽は、やがて森となって街をも浸食しはじめ…。現実を凌駕する長編小説。『文藝』掲載を改稿し単行本化。

2019:8./ 183p
978-4-309-02816-3
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/10/05



中国の領土紛争～武力行使と妥協の論理～

テイラー・フレイヴェル、松田 康博 著
勁草書房
中国はいつ武力行使に踏み切り、いつ妥協を選択するのか。アメリカ人中国研究者が、建国以来すべての領土紛争を検証し、中国の武力行使の条件を解き明かす。尖閣問題を論じた日本語版のためのエピローグも収録。

2019:7./ 11p,377p,105p
978-4-326-30279-6
本体 ¥6,400+税



日本経済新聞 2019/10/05



江戸の終活～遺言からみる庶民の日本史～(光文社新書 1025)

夏目 琢史 著
光文社
最期を悟った者が残される者を思い、自らが得た教訓を込めて記した遺書。それは当時の社会が分かる貴重な「史料」でもある。百姓や商人など江戸時代の市井の人々の声に耳を傾け、異なる時代の人生から今に通じるヒントを得る。

2019:9./ 268p
978-4-334-04433-6
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/10/05



記憶する体

伊藤 亜紗 著
春秋社
階段のおり方、痛みとのつきあい方…。「その人のその体らしさ」はいかに育まれるのか。障害をもつ人の 11 のエピソードを通して、体に蓄積する記憶と知恵を考察する。春秋社のウェブマガジン連載をもとに単行本化。

2019:9./ 277p
978-4-393-33373-0
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/10/05



カモメになったペンギン

ジョン・P. コッター、ホルガー・ラスゲバー、藤原 和博、野村 辰寿 著
ダイヤモンド社

変革を成功させる「8段階の変革プロセス」について、一般の人々にもわかりやすいよう、寓話で紹介する。不利な条件の中でペンギンの群れがこの変革プロセスを活用する様子から、危機を乗り越えるために必要な変革力を学ぶ。

日本経済新聞 2019/10/05

2007:10./ 101p
978-4-478-00034-2

本体 ¥1,200+税



万波を翔る

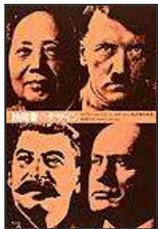
木内 昇 著
日本経済新聞出版社

開国から4年、幕府は外国局を新設した。実力本位で任ぜられた奉行は破格の穎才ぞろい。そこに鼻柱の強い江戸っ子の若者が出仕して…。維新前夜、近代外交の礎を築いた幕臣たちの物語。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。

日本経済新聞 2019/10/05

2019:8./ 555p
978-4-532-17149-0

本体 ¥2,000+税



独裁者のデザイン〜ヒトラー、ムッソリーニ、スターリン、毛沢東の手法〜

松田 行正 著
平凡社

デザインは運用の仕方によって希望にも刃にもなる。ヒトラーを中心に、独裁者たちがプロパガンダを駆使してどのように大衆を踊らせ、抑圧していったかを、デザインの観点から見直す。図版も多数収録。

日本経済新聞 2019/10/05

2019:9./ 351p
978-4-582-62068-9

本体 ¥3,200+税



添乗員さん、気をつけて〜耕介の秘境専門ツアー〜(ハルキ文庫 こ10-1)

小前 亮 著
角川春樹事務所

会社に所属しないプロの添乗員・国枝耕介。「秘境専門ツアー」を企画する東栄旅行から任させるのは、難しいツアーばかり。問題を抱えたお客様を連れてのミステリーツアーを、耕介は乗り切れるのか？ 新感覚お仕事小説。

日本経済新聞 2019/10/05

2019:8./ 349p
978-4-7584-4283-1

本体 ¥760+税



大英自然史博物館珍鳥標本盗難事件〜なぜ美しい羽は狙われたのか〜

カーク・ウォレス・ジョンソン、矢野 真千子 著
化学同人

大英自然史博物館から約300羽の鳥の標本が消えた。世にも美しい鳥が行きついた先は、希少な羽で毛針を制作する愛好家たちの世界だった。2009年6月に起きた盗難事件の真相に迫る犯罪ルポルタージュ。

日本経済新聞 2019/10/05

2019:8./ 381p 図版16p
978-4-7598-2013-3

本体 ¥2,800+税





原価計算 6訂版

岡本 清 著
国元書房

原価計算の理論と技術を歴史的発展に即して記述する。原価データや利益データの集計手続を詳細に説明すると共に、それらの分析や利用方法についても詳細に解説。原価計算と原価計算技法との統合を図る。94年刊に次ぐ6訂版。

2000:4./ 990p

978-4-7658-1009-8

本体 ¥9,000+税



日本経済新聞 2019/10/05



ウーバーランド～アルゴリズムはいかに働き方を変えているか～

アレックス・ローゼンブラット、飯嶋 貴子 著
青土社

アルゴリズムで最適化されたプラットフォームで、スキマ時間に好きなだけ働くことを提案する「ギグエコノミー」の時代。アプリを使ってドライバーを呼ぶ自動車配車サービス「Uber」が生んだ新しい働き方の光と影を探る。

2019:7./ 350p,7p

978-4-7917-7186-8

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/10/05



土地はだれのものか～人口減少時代に問う～

「土地はだれのものか」研究会 著
白揚社

見捨てられた土地が都市を蝕む。本当に土地は「自分」だけのものなのか？土地所有権の課題、老朽マンションの行方、縮減社会と都市計画など、各分野のプロフェッショナルたちが“負”動産問題を論じる。

2019:8./ 303p

978-4-8269-9063-9

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2019/10/05



ガンツウ

堀部 安嗣 著
ミルグラフ

瀬戸内の魅力を掘り起こす客船「ガンツウ」。設計に携わった著者が、その詳細や、客室・ラウンジといった船の全貌、ガンツウが訪れる瀬戸内各地の様子を、美しい写真やドローイングとともに紹介する。

2019:8./ 127p

978-4-910032-00-9

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2019/10/05



独ソ戦～絶滅戦争の惨禍～(岩波新書 新赤版 1785)

大木 毅 著
岩波書店

これは絶滅戦争なのだ。ヒトラーが断言したとき、ドイツとソ連との血で血を洗う皆殺しの闘争が始まった。想像を絶する独ソ戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蛮とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

2019:7./ 20p,248p

978-4-00-431785-2

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/10/05、朝日新聞 2019/10/19



アフリカを見る アフリカから見る(ちくま新書 1428)

白戸 圭一 著
筑摩書房

もはやアフリカは援助対象地ではない。現代アフリカ社会の諸相に焦点を当てつつ、時にアフリカ側に自らの視座を定め日本を観察する。『朝日新聞 GLOBE+』連載に『Foresight』掲載の篠田英朗との対談を加える。

2019:8./ 251p

978-4-480-07242-9

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2019/10/05、朝日新聞 2019/10/19



MMT 現代貨幣理論入門

L.ランダル・レイ、島倉 原、鈴木 正徳 著
東洋経済新報社

MMT(現代貨幣理論)研究の第一人者による「バイブル」。マクロ会計の基礎から主権通貨のための現代貨幣理論までを専門用語を使わず解説する。MMTをいち早く日本に紹介した中野剛志と“反緊縮の旗手”松尾匡の解説付き。

日本経済新聞 2019/10/05、毎日新聞 2019/10/13

2019:8./ 536p,15p
978-4-492-65488-0

本体 ¥3,400+税



生きのびるマンション〜<二つの老い>をこえて〜(岩波新書 新赤版 1790)

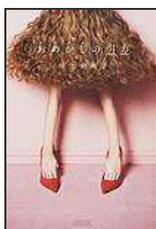
山岡 淳一郎 著
岩波書店

住民の高齢化と建物の老朽化が進むマンション。廃墟化したマンションが出現する一方、住民たちの努力でコミュニティを作り、資産価値を高めた例もある。何が明暗を分けるのか、豊富な取材例から考える。

日本経済新聞 2019/10/12

2019:8./ 14p,219p
978-4-00-431790-6

本体 ¥780+税



おめかしの引力(朝日文庫 か66-1)

川上 未映子 著
朝日新聞出版

「秋冬必須のとっくりですが」「ロングスカートは命がけ」…。飛びこんでぶつかって失敗をくりかえしてきた日々を綴った“おめかし満身創痍録”。写真&特別インタビューも収録。『フィガロ』連載などを加筆し文庫化。

日本経済新聞 2019/10/12

2019:9./ 310p
978-4-02-261984-6

本体 ¥660+税



中国古代史〜司馬遷「史記」の世界〜(角川ソフィア文庫 I407-1)

渡辺 精一 著
KADOKAWA

始皇帝、項羽、劉邦。司馬遷が神話の時代から前漢までの歴史を綴った「史記」は単なる事実の列記に留まらない。読者に深い感慨を与えてやまない「史記」の人物描写にもとづいて、中国古代の世界を100の物語で解き明かす。

日本経済新聞 2019/10/12

2019:9./ 557p
978-4-04-400529-0

本体 ¥1,240+税



日蓮主義とはなんだったのか〜近代日本の思想水脈〜

大谷 栄一 著
講談社

テロリズムから東亜連盟、仏教社会主義まで。近代日本において日蓮の思想はなぜ多くの人びとの心をとらえたのか? 強烈な「此岸性」「在家性」「能動性」で仏国土をこの地上に打ち立てようとした者たちの軌跡を追う。

日本経済新聞 2019/10/12

2019:8./ 668p
978-4-06-516768-7

本体 ¥3,700+税



レス

アンドリュー・ショーン・グリア、上岡 伸雄 著
早川書房

小説家レスのもとに、9年間付き合った元恋人の結婚式への招待状が届く。どうやったら式から逃れられるか。出席を断る口実に、レスは世界中の文学イベントをめぐる旅に出る…。旅路の果てに、愛は見つかるのか?

日本経済新聞 2019/10/12

2019:8./ 325p
978-4-15-209877-1

本体 ¥2,600+税





定点写真でめぐる東京と日本の町並み〜昭和・平成・令和から厳選 412〜(青春新書 INTELLIGENCE PI-581)

二村 高史 著
青春出版社

見慣れた町の風景は、いつのまにかすっかり変わってしまう。北海道から沖縄まで、全国 206 箇所の過去(昭和・平成)と現在(令和)を「定点写真」で徹底比較。日本各地の変化を記録した今昔写真が満載。

2019:10./ 285p
978-4-413-04581-0

本体 ¥1,550+税



日本経済新聞 2019/10/12



リバランス〜米中衝突に日本はどう対するか〜

エズラ・F.ヴォーゲル、加藤 嘉一 著
ダイヤモンド社

揺らぐ習近平 VS 暴走トランプ。漂うばかりの「いい人」日本は真の大人になれるか？ 日中の歴史、国民性、価値観を知り尽くし、米国の東アジア政策に影響を与えてきた知の巨人が語り尽くす。

2019:8./ 12p,290p
978-4-478-10862-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/10/12



日本の消費者は何を考えているのか？〜二極化時代のマーケティング〜

野村総合研究所、松下 東子、林 裕之、日戸 浩之 著
東洋経済新報社

つながりたいけど、ひとりの時間もほしい。消費者は何を考え、何を求めているのか？ 野村総合研究所「生活者 1 万人アンケート調査」の結果に基づき、日本の消費者の変化や消費者マーケティングに関する示唆などを紹介する。

2019:8./ 15p,222p
978-4-492-55790-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/10/12



患者目線の医療改革

渡辺 英克 著
日本経済新聞出版社

日本の医療は全体としてどのように評価できるか、どこに問題があるか、持続可能な医療制度のために変えるべき点は…。トップアナリストが医療サービスを受ける当事者の視点から、いま手掛けるべき医療改革の具体策を示す。

2019:9./ 264p
978-4-532-35829-7

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/10/12



パリ左岸〜1940-50年〜

アニエス・ポワリエ、木下 哲夫 著
白水社

詩人、作家、思想家、画家、俳優、ジャーナリスト、政治家…。目まぐるしく移りゆく社会情勢と世相を背景に、戦後、新たな時代の幕開けを彩り、歴史に名を刻む人々の人生が交錯する瞬間を活写する。

2019:8./ 427p,39p
978-4-560-09719-9

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2019/10/12



ナチス破壊の経済〜1923-1945〜<上>

アダム・トゥーズ、山形 浩生、森本 正史 著
みすず書房

ナチスの経済政策は、いかに付け焼き刃に過ぎなかったか。雇用創出、アウトバーン建設など、ナチ経済政策につきまとう神話の実像を暴きつつ、戦争遂行に向けた、外貨確保を中心とした金融経済政策や動員体制の確立を詳述する。

2019:8./ 22p,415p,62p
978-4-622-08812-7

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2019/10/12



ナチス破壊の経済～1923-1945～<下>

アダム・トゥーズ、山形 浩生、森本 正史 著
みすず書房

ナチスの経済政策は、いかに付け焼き刃に過ぎなかったか。ホロコーストの経済的側面の全貌、シュペーアによる軍備の奇跡の実態など、西部戦線の開戦から敗戦まで、破壊に向かって突き進む総動員経済の終幕を描く。

2019:8./ p4177783 79p

978-4-622-08813-4

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2019/10/12



ロヒンギャ難民 100 万人の衝撃

中坪 央暁 著
めこん

ロヒンギャ問題とは何か、あの日何が起きたのか、解決の道はあるのか、そして日本に何が出来るのか…。バングラデシュで実際にロヒンギャ難民支援に従事してきた元新聞記者が、この未曾有の人道危機をレポートする。

2019:8./ 525p 図版 5 枚

978-4-8396-0317-5

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2019/10/12



タイトル読本

高橋 輝次 著
左右社

作品を世に送り出す最後にして最大の難所「タイトル」。作家、評論家、詩人、歌人、音楽家といった創作者たちはタイトルをどう考察し、どうつけて、現場がどう動いたか。タイトルをめぐる 51 編のアンソロジー。

2019:9./ 278p

978-4-86528-245-0

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/10/12



モアイの白目～目と心の気になる関係～

小林 洋美 著
東京大学出版会

ヒトだけに白目があることを明らかにした著者が、見過ごしてしまいがちな「目」にまつわるさまざまな事柄を、最新の心理学や行動学の研究の数々を紹介しながら読み解く。『眼科ケア』連載を書籍化。

2019:8./ 7p,307p

978-4-13-013313-5

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2019/10/12、東京・中日新聞 2019/10/27



祇園の祇園祭～神々の先導者宮本組の一か月～

澤木 政輝 著
平凡社

祇園祭の本義は神輿渡御を中心とした神事。花街祇園は八坂氏子の宮本として祭を支える。明治以前から続いたお茶屋に生まれ、宮本の一員として奉仕してきた著者が、知られざる神事と祭り風景を綴った貴重な記録。

2019:9./ 314p

978-4-582-83806-0

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/10/12、毎日新聞 2019/10/27



潜入中国～敵戒現場に迫った特派員の 2000 日～(朝日新書 732)

峯村 健司 著
朝日新聞出版

世界 2 位の経済力を軍事費につぎ込み、急速な近代化を進める中国の足元では何が起きていたのか。31 の省、自治区、直轄市に足を運び、空母島、北朝鮮国境などに潜入。中国当局に拘束されながらも現場を追った迫真のルポ。

2019:9./ 242p

978-4-02-295032-1

本体 ¥810+税



日本経済新聞 2019/10/19



西洋占星術史～科学と魔術のあいだ～(講談社学術文庫 2580)

中山 茂 著

講談社

紀元前 10 世紀頃、バビロニアで生まれた占星術は、いかなる道をたどり、発展してきたのか。日常で誰もが触れる「星占い」の背後に広がる壮大なストーリーを、科学史家が平易に語る。鏡リュウジによる解説も収録。

2019:9./ 204p

978-4-06-517132-5

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2019/10/19



愛と欲望の三国志(講談社現代新書 2535)

箱崎 みどり 著

講談社

「三国志」を愛してやまない東大卒女子アナが、独自に研究してきた日中戦争下の三国志ブームの研究成果も盛り込みながら、「三国志」が日本でどう読まれ歴史とかかわってきたのか、その真髄を全く新しい角度から探究する。

2019:8./ 254p

978-4-06-517191-2

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/10/19



日本の地方議会～都市のジレンマ、消滅危機の町村～(中公新書 2558)

辻 陽 著

中央公論新社

地方ではなり手不足に苦しみ、都市では「抵抗勢力」あるいは「追認機関」と批判され、住民との距離が広がるばかりの地方議会。その仕組みやカネ、選挙の実態、職責までを丁寧に描き、日本の地方議会にいま必要な改革を示す。

2019:9./ 5p,253p

978-4-12-102558-6

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/10/19



古川健<1> 治天ノ君/追憶のアリラン(ハヤカワ演劇文庫 48)

古川 健 著

早川書房

歴史劇の名手・古川健の戯曲集。1 は、激動の明治と昭和の間に埋もれ、人々から忘れられた大正天皇の真実を描いた「治天ノ君」ほか、全 2 篇を収録。各作品の参考文献、語句解説、関連年表等も掲載。

2019:10./ 314p

978-4-15-140048-3

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/10/19



精密への果てなき道～シリンダーからナノメートル EUV チップへ～

サイモン・ウィンチェスター、梶山 あゆみ 著

早川書房

産業革命期に生まれた精密概念。工作機械の父・ウィルキンソンをはじめとする天才技術者や、フォード、インテルなどのエポックメイキングな高精度工業製品を生み出した企業の奮闘を描き、技術史に埋もれがちな側面を炙り出す。

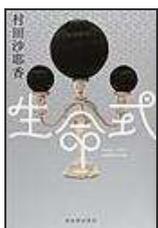
2019:8./ 468p

978-4-15-209879-5

本体 ¥3,100+税



日本経済新聞 2019/10/19



生命式

村田 沙耶香 著

河出書房新社

人口が急激に減り、人類は滅びるのでは、という不安感が世界を支配する時代。死んだ人間を食べながら、男女が受精相手を探す「生命式」が行われ…。表題作をはじめ、著者自身がセレクトした“脳を揺さぶる”全 12 編を収録。

2019:10./ 269p

978-4-309-02830-9

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2019/10/19



バルセロナ・レガシー～クライフ哲学の申し子たちによる熾烈極まる抗争～

ジョナサン・ウィルソン、三好 幸詞 著

東洋館出版社

ヨハン・クライフとファン・ハール、グアルディオラとモウリーニョ…。ヨハン・クライフから始まる FC バルセロナ歴代監督の足跡と、クライフ哲学の申し子たちによる抗争を描き、ヨーロッパサッカーの現代史を綴る。

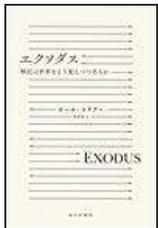
2019:9./ 431p

978-4-491-03707-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2019/10/19



エクソダス～移民は世界をどう変えつつあるか～

ポール・コリアー、松本 裕 著

みすず書房

<移民自身><受入国の住民><送出国に残された人々>という3つの立場にバランスよく目配りしつつ、移住のグローバルな経済的、社会的、文化的影響を分析する。

2019:9./ 264p,16p

978-4-622-08833-2

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2019/10/19



歴史がおわるまえに

與那覇 潤 著

亜紀書房

往年の偉人ですら「キャラ」になり、国民が共有できる「物語」はすっかり消えたいま、私たちに「歴史」は必要なのだろうか？ 気鋭の歴史学者による史論・時事論集。斎藤環、仲正昌樹らとの対談も収録。

2019:9./ 387p

978-4-7505-1610-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/10/19



アラスカ探検記～最後のフロンティアを歩く～

マーク・アダムス、森 夏樹 著

青土社

先住民とのふれあい、カヤックでの冒険、知られざるアラスカの歴史-。「自然保護の父」ジョン・ミュアの足跡を感じながら、壮大な自然の残る氷河の世界をたどる。アラスカの魅力に迫るノンフィクション。

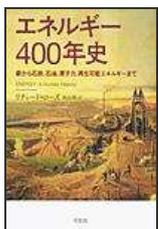
2019:8./ 428p,6p

978-4-7917-7207-0

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/10/19



エネルギー400年史～薪から石炭、石油、原子力、再生可能エネルギーまで～

リチャード・ローズ、秋山 勝 著

草思社

人間はこの地球からどのようなエネルギー資源を見つけだし、どのように利用してきたのだろうか。発見、発明、発展、そして立ちはだかる難題…。400年にわたるエネルギーの変遷をめぐる「人間」たちの物語。

2019:7./ 663p

978-4-7942-2407-1

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2019/10/19



ビッグミステイク～レジェンド投資家の大失敗に学ぶ～

マイケル・バトニック、鈴木 立哉 著

日経BP社

投資の世界では、誰もが必ず失敗を経験する。ベンジャミン・グレアム、ウォーレン・バフェット、クリス・サッカといった偉大な投資家たちが犯した数々の大失敗から、長く勝ち続けるための極意を学ぶ。

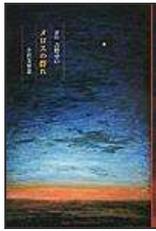
2019:9./ 292p

978-4-8222-8985-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2019/10/19



メロスの群れ〜評伝吉野せい〜

小沢 美智恵 著
シングルカット

文壇とは縁のない「百姓バツパ」が、70代半ばで刊行した「涙をたらした神」。生活の重みと鋭い切れ味の文体を持った“恐るべき文学”はどこからきたのか。小説家・吉野せいの生涯に迫った評伝。『ちば文学』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2019/10/19

2019:7./ 253p
978-4-938737-67-2

本体 ¥1,600+税



ファン・ゴッホ〜日本の夢に懸けた画家〜(角川ソフィア文庫 F203-1)

園府寺 司 著
KADOKAWA

印象派や浮世絵との出会いに導かれ、短い生涯を駆け抜けた画家ファン・ゴッホ。彼の心の中には、孤高の理想を「日本」に託し続けた、ユートピアへの儚い希望があった。代表作や手紙から、37年の人生を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2019/10/26

2019:9./ 220p
978-4-04-400528-3

本体 ¥1,080+税



究極の歩き方(講談社現代新書 2541)

アシックススポーツ工学研究所 著
講談社

50歳を境に足や歩き方の衰えが始まる。いつまでも健康で楽しく暮らすにはどこに気をつけるべきか、靴を選ぶときどんな点に注意すべきか、運動するならどんなスポーツが望ましいか、アシックスが解説する。

日本経済新聞 2019/10/26

2019:9./ 220p
978-4-06-517433-3

本体 ¥900+税



エイリアン〜科学者たちが語る地球外生命〜

ジム・アル=カーリー 編
斉藤 隆央 著
紀伊國屋書店出版部

極限環境微生物か、無機質な知性体か。現実として浮かび上がる「エイリアン」の姿とは? 天文学、宇宙物理学、生化学、遺伝学…。様々な分野の専門家が、地球外生命の定義、存在の条件と可能性、形態、探査方法を検討する。

日本経済新聞 2019/10/26

2019:8./ 337p
978-4-314-01170-9

本体 ¥2,200+税



ルポ平成ネット犯罪(ちくま新書 1434)

渋井 哲也 著
筑摩書房

出会い系サイト、SNSによる売買春、闇サイトの違法・脱法ドラッグ売買…。新しいメディアと個人のかかわり取材するジャーナリストが、インターネットに広がるアンダーグラウンドの背景と変化を追う。

日本経済新聞 2019/10/26

2019:9./ 269p
978-4-480-07252-8

本体 ¥860+税



2050年の経済覇権〜コンドラチェフ・サイクルで読み解く大国の興亡〜

嶋中 雄二、三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所 著
日本経済新聞出版社

エスカレートする米中対立、人口世界一が近づくインド。長期の世界像を予測できるコンドラチェフ・サイクルに基づき、軍事力・科学技術力、人口、国際収支、交易条件から2050年の世界経済・覇権国を読み解く。

日本経済新聞 2019/10/26

2019:9./ 285p
978-4-532-35815-0

本体 ¥2,000+税





古典つまみ読み～古文の中の自由人たち～(平凡社新書 920)

武田 博幸 著
平凡社

人間はなぜ、かくも不器用で愛おしいのか。信仰に生きた尼、自ら滅びゆく道を選んだ侍、気ままな生活を楽しむ貴族など、愛すべき登場人物たちに光を当て、珠玉の解説により古文の世界を味わい尽くす。『道標』連載を書籍化。

2019:8./ 286p

978-4-582-85920-1

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2019/10/26



日本の東南アジア援助政策～日本型 ODA の形成～

大海渡 桂子 著
慶應義塾大学出版会

日本型 ODA の戦略とは。第二次世界大戦後の賠償から生まれ、東西冷戦を背景に日本の経済復興と東南アジアの開発が結びついた過程と、「日本型 ODA」の特徴が生まれた背景およびその戦略を探る。

2019:9./ 4p,262p,4p

978-4-7664-2623-6

本体 ¥5,000+税



日本経済新聞 2019/10/26



海をめぐる対話(ダイアログ)ハワイと日本～水産業からのアプローチ～(塙選書 124)

小川 真和子 著
塙書房

日本の海の民は、ハワイで出会ったさまざまな人々と、どのような対話を交わしながら生活してきたのであろうか。19 世紀後半から現在にいたるまでの、ハワイの水産業と日本の海の民の歴史を、聞きとりを交えて描く。

2019:9./ 5p,234p

978-4-8273-3124-0

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/10/26



ぼくらがアニメを見る理由～2010 年代アニメ時評～

藤津 亮太 著
フィルムアート社

アニメを言葉でつかまえてみたい。「魔法少女まどか☆マギカ」から「天気の子」まで、2010 年代を飾ったアニメたちを語り尽くす。アニメ情報サイト『アニメ!アニメ!』連載の作品評を中心に、多数の論考を収録。

2019:8./ 403p

978-4-8459-1836-2

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/10/26



AIには何ができないか～データジャーナリストが現場で考える～

メレディス・ブルサード、北村 京子 著
作品社

人工知能は何ができる/できないのか。ソフトウェア開発の経験もある著者が、コンピューターの基本的仕組み、自身の実践的取り組み、人種・格差等の社会的文脈をも交えつつ解説。人間×テクノロジーのよりよい未来を展望する。

2019:7./ 351p,28p

978-4-86182-761-7

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/10/26



革命とサブカル～「あの時代」と「いま」をつなぐ議論の旅～

安彦 良和 著
言視舎

漫画家・安彦良和が、「あの時代」がどういう時代で現代はどうかということ、自身がくぐり抜けてきた「サブカル」の時代」を経由して考える。弘前大学全共闘に関係した人々やサブカル研究者との討論も収録。

2018:10./ 517p

978-4-86565-130-0

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/10/26



グレタたったひとりのストライキ

マレーナ・エルンマン、ベアタ・エルンマン、グレタ・トゥーンベリ、スヴァンテ・トゥーンベリ、羽根 由、寺尾 まち子 著

海と月社

16歳で世界を動かす気候活動家グレタ。彼女が「気候のための学校ストライキ」を始めるまでのことや、人類に迫っている危機「気候変動」について、グレタの家族が語る。世界各地での「グレタのスピーチ」も多数収録。

2019:10./ 305p

978-4-903212-68-5

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2019/10/26



ノワールをまとう女

神護 かずみ 著

講談社

それは破戒の罰なのか？ 企業の炎上鎮火請負人・西澤奈美は、医薬品メーカーに対するデモを鎮圧すべく市民団体に潜入した。そこでリーダーから同志として紹介されたのは、恋人の雪江で…。

2019:9./ 317p

978-4-06-517097-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/10/05



世界の神話(岩波ジュニア新書 902)

沖田 瑞穂 著

岩波書店

古代の人々の交流の痕跡や共通の心理の反映、印象的な自然現象を知ることができる「神話」。インド、メソポタミア、エジプト、ギリシア、北欧など、世界各地に伝わる「聖なる物語」を案内する。

2019:8./ 9p,236p,4p

978-4-00-500902-2

本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/10/06



プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第1編> 物体の運動(ブルーバックス B-2100)

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第1編は、物体の運動の諸形態をあらゆる角度から詳細に論じる。訳者自身の証明や、気付きも収録する。

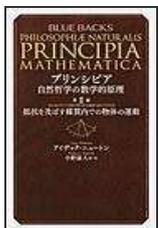
2019:6./ 441p

978-4-06-516387-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/06



プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第2編> 抵抗を及ぼす媒質内での物体の運動(ブルーバックス B-2101)

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第2編は、流体力学の諸問題、振り子の運動や波動の研究を展開する。訳者による注も掲載。

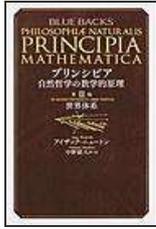
2019:7./ 373p

978-4-06-516656-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/06



プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第3編> 世界体系(ブルーボックス B-2102)

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第3編は、第1編・第2編で述べた哲学の諸原理をもとに、世界体系の枠組を示す。訳者による注も掲載。

2019:8./ 355p

978-4-06-516657-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/06



未来への大分岐～資本主義の終わりか、人間の終焉か?～(集英社新書 0988)

斎藤 幸平 編

マルクス・ガブリエル、マイケル・ハート、ポール・メイソン 著

集英社

我々が何を選択するかで、人類の未来が決定的な違いを迎える「大分岐」の時代。多くの人々が団結できるような新しい社会にするにはどうすればいいのか。世界最高峰の知識人たちの対話を通じて、未来をつくる方法を探る。

2019:8./ 348p

978-4-08-721088-0

本体 ¥980+税



毎日新聞 2019/10/06



平凡

角田 光代 著

新潮社

もし、あのひとと結婚していなければ。別れていなければ。仕事を続けていれば。どんなふう暮らしだっただろう、絶対、選ばなかった方のことを想像してしまう…。6人の「もし」を描いた小説集。『小説新潮』掲載を単行本化。

2014:5./ 222p

978-4-10-434606-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/10/06



ナチスの戦争 1918-1949～民族と人種の戦い～(中公新書 2329)

リチャード・ベッセル 著

中央公論新社

ナチスが主導した「民族と人種の戦い」とは何だったのか。ナチズムの核心を人種戦争と捉え、そのイデオロギーの本質を抉り出し、「狂信的な意志」による戦争の全過程、その余波までを描き出す。

2015:9./ 339p

978-4-12-102329-2

本体 ¥960+税



毎日新聞 2019/10/06



富士日記<上> 新版(中公文庫 た15-10)

武田 百合子 著

中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での13年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。上は、昭和39年7月から41年9月までを収録。泰淳の関連エッセイを付した新版。

2019:5./ 439p

978-4-12-206737-0

本体 ¥940+税



毎日新聞 2019/10/06

**富士日記<中> 新版(中公文庫 た15-11)**武田 百合子 著
中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での 13 年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。中は、昭和 41 年 10 月から 44 年 6 月までを収録。泰淳の関連エッセイを付した新版。

2019:6./ 465p
978-4-12-206746-2

本体 ¥960+税



毎日新聞 2019/10/06

**富士日記<下> 新版(中公文庫 た15-12)**武田 百合子 著
中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での 13 年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。下は、昭和 44 年 7 月から 51 年 9 月までを収録。武田花のエッセイも掲載。

2019:7./ 438p

978-4-12-206754-7

本体 ¥940+税



毎日新聞 2019/10/06

**日本語と論理～哲学者、その謎に挑む～(NHK 出版新書 600)**飯田 隆 著
NHK出版

単数と複数の区別がなくても支障がないのはなぜ? 「多くのこども」と「こどもの多く」は何が違う? 「の」の意味とは? 「こそあど」の論理的共通点とは? 言語哲学の大家が、日本語の「謎」を徹底分析する。

2019:9./ 296p

978-4-14-088600-7

本体 ¥950+税



毎日新聞 2019/10/06

**旅する絵描きタブローの向こうへ**いせ ひでこ 著
文藝春秋

名画をモチーフに描くうちに、心は若き日に移り住んだパリへ。画家・絵本作家のいせひでこが、描くことの喜びを絵とエッセイで表現する。松方幸次郎のタブローのコレクションの行方を描いた原田マハの連載小説の挿画も収録。

2019:7./ 56p

978-4-16-391064-2

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/10/06

**本当の貧困の話しよう～未来を変える方程式～**石井 光太 著
文藝春秋

君たちが幸せをつかむために今知るべきこと。国内外の最底辺取材し続けてきた著者が、想像を絶する貧困のリアルから様々な支援の方策までを、17 歳に全力で伝える講義。人生や社会に革命をもたらすための方程式を示す。

2019:9./ 255p

978-4-16-391103-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/06

**大なる聖戦～第二次世界大戦全史～<上>**H.P.ウィルモット、等松 春夫 著
国書刊行会

20 世紀の戦争と戦略に関する研究を進めてきた英国の歴史家ウィルモットが描く第二次世界大戦全史。上は、「新しい世界と新しい戦争」「征服戦争の階梯」「世界戦争への拡大」を収録。

2018:9./ 467p

978-4-336-06292-5

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2019/10/06



大いなる聖戦～第二次世界大戦全史～<下>

H.P.ウィルモット、等松 春夫 著
国書刊行会

20 世紀の戦争と戦略に関する研究を進めてきた英国の歴史家ウィルモットが描く第二次世界大戦全史。下は、「転換点:1943 年」「時間・空間・戦略」「決着の時」「結論」を収録。戦役索引・総索引等も掲載。

2018:9./ 463p,27p
978-4-336-06293-2

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2019/10/06



幽霊島～平井呈一怪談翻訳集成～(創元推理文庫 F ン 10-1)

A.ブラックウッド、平井 呈一 著
東京創元社

西洋怪奇小説の紹介と翻訳など、日本における怪奇翻訳の礎を築いた巨匠・平井呈一。名訳として知られるラヴクラフト「アウトサイダー」ほか全 13 篇を収録するほか、対談・エッセー・書評を掲載。

2019:8./ 543p
978-4-488-58508-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/10/06



日本国の正体～「異国の眼」で見た真実の歴史～

孫崎 享 著
毎日新聞出版

私たちは何者なのか。外国人たちによる「日本論」を集め、著者が解説と分析を加えたもの。日本人の「真の評価」「真の実力」を知り、新たな時代の戦略を再構築する試み。「日本人による外国人観」についても考察する。

2019:9./ 333p
978-4-620-32604-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/10/06



二つの世界大戦(世界史リブレット)

木村靖二 著
山川出版社
毎日新聞 2019/10/06

1996:9./ 90p
978-4-634-34470-9

本体 ¥729+税



台湾文学の発掘と探究

下村 作次郎 著
田畑書店

1920 年代に生まれた近代の台湾文学は、さまざまな言語と格闘し、時代に翻弄され、禁圧されながらも生き抜いてきた。佐藤春夫、高一生のほか、主に台湾人文学者の作品について論じ、台湾文学の根源と発展をたどる。

2019:8./ 451p,9p
978-4-8038-0363-1

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2019/10/06



聖書～聖書協会共同訳～

日本聖書協会 著
日本聖書協会

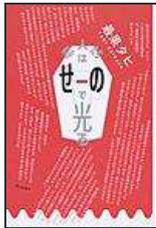
カトリック、プロテスタント教会による「共同訳」の聖書。礼拝での朗読にふさわしい、格調高く美しい日本語訳。聖書全体に引照と注を付す。旧約聖書続編、カラー聖書地図、143 語の用語解説も収録。

2018:12./ 1 冊
978-4-8202-1342-0

本体 ¥5,400+税



毎日新聞 2019/10/06



恋人たちはせーので光る

最果 夕ヒ 著
リトル・モア

詩を読むことは病まない孤独であり、幸福の可能性に気づくこと。数々の新しい詩の運動をまきおこしてきた最果夕ヒの詩集。1 篇ごとに、祖父江慎によるブックデザインが、たったひとつの世界を作りだす。

2019:8./ 93p

978-4-89815-509-7

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2019/10/06



キタリス～生態写真集～

竹田津 実 著
新潮社

傷ついた野生動物を治療して森に帰す獣医師が、北の大地に生きるリスたちの愛らしくもたくましい姿を、あたたかい眼差しで見つめて綴る観察記。巣作り、恋、出産、子育て、旅立ち、そして別れをとらえた写真集。

2019:9./ 191p

978-4-10-447303-8

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/10/06、朝日新聞 2019/10/19



中国戦線従軍記～歴史家の体験した戦場～(岩波現代文庫 学術 407)

藤原 彰 著
岩波書店

19 歳で陸軍少尉に任官し、敗戦までの 4 年間、最前線で指揮をとり、戦後、その経験をもとに戦争史研究を牽引した藤原彰。日本軍のありさまと兵士・将官たちの日常を描き出した「従軍記」であるとともに優れた兵士論・戦場論。

2019:7./ 6p,268p

978-4-00-600407-1

本体 ¥1,080+税



毎日新聞 2019/10/13



苦海浄土～わが水俣病～ 新装版(講談社文庫)

石牟礼 道子 著
講談社

工場廃水の水銀が引き起こした文明の病・水俣病。本作は、世に出て 30 数年を経たいまなお、極限状況にあっても輝きを失わない人間の尊厳を訴えてやまない。

2004:7./ 416p

978-4-06-274815-5

本体 ¥760+税



毎日新聞 2019/10/13



「私」は脳ではない～21 世紀のための精神の哲学～(講談社選書メチエ 710)

マルクス・ガブリエル、姫田 多佳子 著
講談社

神経科学は人間の思考や意識、精神を「物」と同一視し、脳に還元する「誤った空想の産物」。具体例をまじえていねいに考察し、人間の「自由」を高らかに宣言する。「なぜ世界は存在しないのか」に続く「3 部作」の第 2 巻。

2019:9./ 386p

978-4-06-517079-3

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2019/10/13



「他者」の起源～ノーベル賞作家のハーバード連続講演録～(集英社新書 0985)

トニ・モリスン 著
集英社

アフリカ系アメリカ人初のノーベル文学賞作家が、「他者化」のからくりを考察。過去の白人作家たちが作品に隠蔽した人種差別を暴き、その欺瞞を突きながら、自著の仕掛けも明かす。2016 年のハーバード大学での連続講演録。

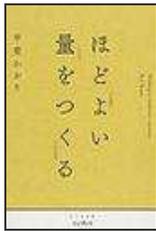
2019:7./ 189p

978-4-08-721085-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2019/10/13

**青い眼がほしい(ハヤカワ epi 文庫)**トニ・モリスン 著
早川書房
毎日新聞 2019/10/132001:6./ 323p
978-4-15-120006-9
本体 ¥860+税**スーラ(ハヤカワ epi 文庫)**トニ・モリスン 著
早川書房
毎日新聞 2019/10/132009:8./ 273p
978-4-15-120055-7
本体 ¥720+税**ほどよい量をつくる(しごとのわ)**甲斐 かおり 著
インプレス
つくりすぎない、働きすぎない。それでもやっていける。つくり手、買い手、商品をつなぐ3つの線を意識した3つのパートから、「ほどよい量」について考える。ものづくりの先駆者たちに学ぶ、持続可能なビジネスのヒント。2019:9./ 230p
978-4-295-00746-3
本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2019/10/13

**#発達系女子の明るい人生計画**宇樹 義子 著
河出書房新社
発達障害と複雑性 PTSD の当事者が、生きづらかった半生を振り返りながら、自分を癒し、未来を切り開くための指針を考える。つらい環境脱出のための行動フローチャート、支援機関・制度リスト付き。2019:9./ 252p
978-4-309-24925-4
本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2019/10/13

**モンズーン(エクス・リブリス)**ピョン ヘヨン 著
白水社
ユジンとテオの夫婦関係は冷めきって、会話が成り立たない。きっかけは、生まれて間もないわが子の死だった。表題作ほか「ウサギの墓」「少年易老」など、反復される日常に潜む人間存在の不条理と謎を描いた全9篇を収録。2019:8./ 242p
978-4-560-09060-2
本体 ¥2,000+税

毎日新聞 2019/10/13

**きのこのなぐさめ**ロン・リット・ウーン、枇谷 玲子、中村 冬美 著
みすず書房
喪失の痛みのさなか、社会人類学者の著者はふと参加したきのこ講座で、足下に広がるワンダーランドに出会う。きのこ狩り、愛好家の友情、色・形・匂いの個性、レシピ…。きのこの不可思議な魅力を通して描く、魂の再生の物語。2019:8./ 311p,7p
978-4-622-08809-7
本体 ¥3,400+税

毎日新聞 2019/10/13



ベニシアと正、人生の秋に〜正ありがとう。すべて、ありがとう〜

梶山 正、ベニシア・スタンリー・スミス 著
風土社

NHK「猫のしっぽカエルの手」のベニシア・スタンリー・スミスと、夫で写真家の梶山正が、2 人の出会いと結婚からベニシアの目が見えなくなるまでの半生を綴る。『チルチンびと』連載を書籍化。

毎日新聞 2019/10/13

2019:10./ 143p
978-4-86390-054-7

本体 ¥1,800+税



河東碧梧桐〜表現の永続革命〜

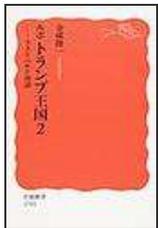
石川 九楊 著
文藝春秋

俳句と全力で格闘し、力を尽くし、近代随一の書を残した河東碧梧桐。近代俳句史から敬遠され、抹消された河東碧梧桐-。伝説の俳人/書家の姿に迫る評伝。『文學界』連載を単行本化。

毎日新聞 2019/10/13、日本経済新聞 2019/10/26、東京・中日新聞 2019/10/27

2019:9./ 405p
978-4-16-391100-7

本体 ¥2,500+税



ルポ トランプ王国<2> ラストベルト再訪(岩波新書 新赤版 1793)

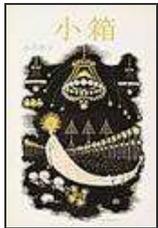
金成 隆一 著
岩波書店

都市と地方の中間に位置し揺れる「郊外」、さらに、深南部に広がる熱心なキリスト教徒の多い「バイブルベルト」…。トランプ就任後、2017?19 年の「トランプ王国」の真の姿を伝える。

毎日新聞 2019/10/20

2019:9./ 12p,303p
978-4-00-431793-7

本体 ¥940+税



小箱

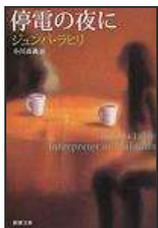
小川 洋子 著
朝日新聞出版

小箱の番人、歌でしか会話ができないソバトンさん、息子を失った従姉、遺髪で竖琴の弦をつくる元美容師…。「おくりびと」たちは、孤独のさらに奥深くで冥福を祈っている…。7年ぶりの書下ろし長編小説。

毎日新聞 2019/10/20

2019:10./ 209p
978-4-02-251642-8

本体 ¥1,500+税



停電の夜に(新潮文庫)

ジュンバ・ラヒリ 著
新潮社

毎日新聞 2019/10/20

2003:2./ 327p
978-4-10-214211-0

本体 ¥590+税



お寺の掲示板

江田 智昭 著
新潮社

「おまえも死ぬぞ」「人生が行き詰まるのではない。自分の思いが行き詰まるのだ」全国のお寺の門前の掲示板の言葉を写真で紹介し、仏教の教えを伝える。『ダイヤモンド・オンライン』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2019/10/20

2019:9./ 95p
978-4-10-352871-5

本体 ¥1,000+税





鎮魂ハルの生涯

古川 貞二郎 著
文藝春秋

本書は、稀代の官房副長官の手による「官僚誕生の物語り」としても読むことができます。また、いたるところに昭和初期の懐かしい風物が再現され、大都市の繁栄と軌を一にする地方の衰退も同時に描かれています。

毎日新聞 2019/10/20

2019:9./ 367p
978-4-16-008959-4

本体 ¥1,500+税



力なき者たちの力

ヴァーツラフ・ハヴェル、阿部 賢一 著
人文書院

無力な私たちは権力に対してどう声をあげるべきか? チェコの劇作家、大統領ヴァーツラフ・ハヴェルによる全体主義をすどく突いた不朽の名著。権力のあり様を分析し「真実の生」の意義を説く。資料「憲章 77」、解説付き。

毎日新聞 2019/10/20

2019:8./ 154p
978-4-409-03104-9

本体 ¥2,000+税



鉄に聴け鍛冶屋列伝(ちくま文庫 え 14-2)

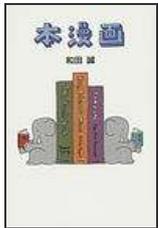
遠藤 ケイ 著
筑摩書房

練達の職人技によって生み出される鉄の道具は、人間のさまざまな営みを可能にし、日本の文化と社会を支えてきた。鍛冶修業を続けてきた著者が、名工を訪れ、伝統的な鍛冶文化の深奥と職人たちの執念を描く体験ルポルタージュ。

毎日新聞 2019/10/20

2019:9./ 365p
978-4-480-43617-7

本体 ¥900+税



本漫画

和田 誠 著
毎日新聞出版

『毎日新聞』の書評欄「今週の本棚」に掲載された、読書をテーマにしたイラスト、ひとコマ漫画。14年間描き続けた読書漫画を一冊にまとめる。新聞では白黒だったものに色を加えた作品や描き下ろしなども掲載。

毎日新聞 2019/10/20

2009:1./ 1冊(ページ付なし)

978-4-620-31922-3

本体 ¥2,000+税



フランス人とは何か～国籍をめぐる包摂と排除のポリティクス～

パトリック・ヴェイユ、宮島 喬、大嶋 厚、中力 えり、村上 一基 著
明石書店

生地主義、血統主義、帰化の意味を跡づけ、ユダヤ人の国籍?奪、女性・植民地出身者に対する差別や不平等について緻密に検証。フランス革命以降の国民/外国人の境界線のゆらぎ、平等・包摂の現代にいたる道程を描き出す。

毎日新聞 2019/10/20

2019:6./ 565p
978-4-7503-4799-8

本体 ¥4,500+税



死んだらどうなるのか?～死生観をめぐる6つの哲学～

伊佐敷 隆弘 著
亜紀書房

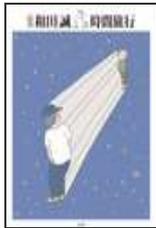
「他の人間や動物に生まれ変わる」「すぐそばで子孫を見守る」「完全に消滅する」...。だれもが悩む問題「死後はどうなる?」を宗教・哲学・AI についての議論を横断しながら、対話形式で探究する。

毎日新聞 2019/10/20

2019:9./ 274p
978-4-7505-1619-6

本体 ¥1,800+税





定本和田誠時間旅行

和田 誠 著
玄光社

和田誠の幅広い活動を「時間旅行」する作品集。幼年時に描いた絵物語やスケッチ、漫画を含め、「エディトリアル」「装丁」「版画」「立体作品」などのジャンルごとに代表作を掲載。インタビュー、阿川佐和子との対談も収録。

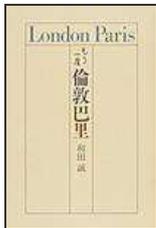
2018:8./ 287p

978-4-7683-1104-2

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2019/10/20



もう一度倫敦巴里

和田 誠 著
ナナログ社

対象への愛情を伴う深い洞察によって描かれた、見事な「モジリ」の数々。和田誠の戯作・撰作大全集。1977年に刊行された「倫敦巴里」に、「雪国」海外篇などを加え、再編集して書籍化。

2017:1./ 170p

978-4-904292-71-6

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/10/20



権力と音楽～アメリカ占領軍政府とドイツ音楽の「復興」～

芝崎 祐典 著
吉田書店

アメリカという存在が戦後ドイツの音楽環境の正常化にどのような影響を与えたか、そして戦後ドイツ音楽にどのような意味で影響を及ぼしたかを考察。権力と音楽の見えにくい関係の一端を可視化する。

2019:7./ 316p

978-4-905497-77-6

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/10/20



平成の文学とはなんだったのか～激流と無情を越えて～

重里 徹也、助川 幸逸郎 著
はるかぜ書房

村上春樹、高村薫、綿矢りさ、大江健三郎…。平成の30年間に作家たちはその底力を発揮した。小説が示す時代の願望と文学の志を、文芸評論家・重里徹也と日本文学研究者・助川幸逸郎が徹底的に語り合う。

2019:9./ 217p

978-4-909818-13-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/10/20



酒井抱一～俳諧と絵画の織りなす抒情～(岩波新書 新赤版 1798)

井田 太郎 著
岩波書店

名門大名家に生まれながら、市井で生涯を終えた酒井抱一。江戸というマルチレイヤー社会を自在に往還し、「琳派」誕生を決定づけ、名作「夏秋草図?風」をうみだしたその軌跡を、俳諧と絵画の両面から丁寧に読み解く評伝。

2019:9./ 3p,270p,17p

978-4-00-431798-2

本体 ¥980+税



毎日新聞 2019/10/20、読売新聞 2019/10/27



雪降る音～句集～(青山叢書 第138集)

井越 芳子 著
ふらんす堂

病む父の椅子白梅の闇の奥 本棚に静かなことば花柳木 島は秋海の広さの雲流れ 花のどこかに母の息父の息 平成19年から30年までの372句を収めた第3句集。

2019:9./ 203p

978-4-7814-1214-6

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/10/21



愛は戦渦を駆け抜けて～報道カメラマンとして、女として、母として～

リンジー・アダリオ、堀川 志野舞 著

KADOKAWA

アフガニスタン、イラク、スーダン、リビアなどを巡り、写真 1 枚のために命を賭ける生活。キャリアを積み上げたその間に、伴侶も子どもも得た。仕事の幸せも、日常の幸せも諦めなかったジャーナリストの半生記。

2016:9./ 404p 図版 5 枚

978-4-04-103536-8

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/10/27



トリガー<上>

真山 仁 著

KADOKAWA

検事で馬術競技韓国代表のセリオンは、東京オリンピックの直前、凶漢に襲われ、ある不正に関する極秘捜査をやめるように脅される。2020 年 7 月、ついにオリンピックが開幕し…。『小説野性時代』連載を加筆修正し単行本化。

2019:8./ 270p

978-4-04-105496-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/27



トリガー<下>

真山 仁 著

KADOKAWA

オリンピックの馬術競技会場で起きたセリオン暗殺事件。背後には日米韓を揺るがす極秘情報が存在していた。事件の統括責任者・冴木は北朝鮮の潜伏工作官と真相に迫ろうとするが…。『小説野性時代』連載を加筆修正し単行本化。

2019:8./ 274p

978-4-04-105499-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/10/27



百舌落とし〔百舌シリーズ〕[7]

逢坂 剛 著

集英社

元議員が殺され、元警察官の大杉と公安の倉木美希は調査を開始する。謎と伝説に包まれた“殺し屋百舌”とは？ 真の黒幕が姿を現したとき、驚愕の真実が…。MOZU シリーズ完結。『小説すばる』掲載を加筆修正し単行本化。

2019:8./ 474p

978-4-08-771672-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/10/27



幽玄の絵師～百鬼遊行絵巻～

三好 昌子 著

新潮社

異能の絵師土佐光信は、将軍足利義政から人心を惑わす妖異の謎を解くよう命じられる。御所をさまよう血塗れの女、影喰らい、笑い小鼓…。果たして彼が見極めた化生の正体とは。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:9./ 248p

978-4-10-352851-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/10/27



誰も知らないレオナルド・ダ・ヴィンチ(NHK 出版新書 598)

斎藤 泰弘 著

NHK出版

「世紀の偉人」が本当になりたかったもの-それは「水」の研究者であり、アルキメデスだった！ レオナルドの「手稿」研究の第一人者が、図像と鏡文字を読み解き、天才画家の知られざる素顔を描き出す。カラー図版も収録。

2019:9./ 277p

978-4-14-088598-7

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2019/10/27



ルネサンス庭園の精神史～権力と知と美のメディア空間～

桑木野 幸司 著
白水社

ボッティチェリ<春>に描かれたのは、実在の庭だったのか。初期近代イタリアを彩る数々の名苑奇園の内に、当時の自然観や美学、哲学、科学、工学が混濁する創造的瞬間を見る、新しい文化史。図版も多数収録。

毎日新聞 2019/10/27

2019:7./ 352p,35p
978-4-560-09711-3

本体 ¥4,800+税



昭和も遠くなりけり

矢野 誠一 著
白水社

「小沢昭一さんの形見」「飢餓世代」「廓ばなしの名人たち」…。昭和の話ならお手のものの著者が、50年続く「東京やなぎ句会」の句友たちの動向を中心に、思い出の人間模様の数々を生きたきと描く。

毎日新聞 2019/10/27

2019:8./ 244p

978-4-560-09717-5

本体 ¥2,500+税



会社を潰すな!～崖っぷち社員たちの企業再生ドラマ～(PHP文庫 こ66-1)

小島 俊一 著
PHP研究所

倒産寸前の赤字書店へ出向を命じられた銀行マン・鏑木。会社経営に無知な女社長と、鏑木を敵視する6人の店長たちは、鏑木の情熱に心を動かされ…。決算書・マーケティング・マネジメントの基礎が自然と身につくビジネス小説。

毎日新聞 2019/10/27

2019:10./ 373p

978-4-569-76967-7

本体 ¥800+税



介護保険解体の危機～誰もが安心できる超高齢社会のために～

下野 恵子 著
法政大学出版局

2000年に導入された介護保険は、財源不足を背景に介護サービス利用が制限されるなど、制度は実質的に解体しつつある。制度を維持し、支え合うには何が必要か? 経済学者が介護の実体験をふまえ、緊急に提言する。

毎日新聞 2019/10/27

2019:8./ 8p,227p

978-4-588-67524-9

本体 ¥2,300+税



美しい日本語 荷風<1> 季節をいとおしむ言葉

永井 荷風、持田 叙子、高柳 克弘 著
慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕140年、没後60年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。1は、「牡丹の客」「葡萄棚」「雪のやどり」など、季節をいとおしむ言葉を収録。

毎日新聞 2019/10/27

2019:8./ 222p

978-4-7664-2616-8

本体 ¥2,700+税



歌が照らす

伊藤 一彦 著
本阿弥書店

2011年?2019年に雑誌や新聞に発表した、主に短歌に関する文章をまとめたもの。自然と人間の関係をテーマにした現代短歌や、短歌の鑑賞と実作の楽しみについて綴るほか、歌人論・歌集論、書評などを収録する。

毎日新聞 2019/10/27

2019:9./ 247p

978-4-7768-1434-4

本体 ¥2,500+税





切抜帳

江代 充 著
思潮社

粗い土の地にいる二羽のスズメが 雨の降りている地所のうえて白濁し 代わる代わるその位置を置き換えるように ひくく跳ねながら せまい土の範囲を先へ先へと移動している(「降雨」より) 詩集。

2019:9./ 117p

978-4-7837-3684-4

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2019/10/27



MINAMATA NOTE 1971~2012~私とユージン・スミスと水俣~

石川 武志 著
千倉書房

「おまえも水俣の写真を撮れ」 そんなユージンの言葉をかみしめるように、再び水俣の写真を撮り始めた。そこには何も変わらない、何も終わらないまま、「水俣病」が存在していた…。水俣の過去と現在を照らし出す写真集。

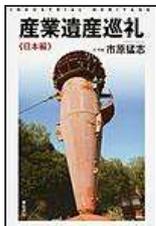
2012:10./ 6p,174p

978-4-8051-1004-1

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2019/10/27



産業遺産巡礼<日本編>

市原 猛志 著
弦書房

その遺産はなぜそこにあるのか。その価値はどこにあるのか。対馬オメガ局送信用鉄塔、小岩井農場上丸牛舎、とよま明治村、築地市場…。20年に及ぶ調査行で訪ねた全国各地の産業遺産から、選りすぐりの212か所を案内する。

2019:7./ 316p

978-4-86329-192-8

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/10/27



ルワンダ ジェノサイドから生まれて

ジョナサン・トーゴヴニク 著
赤々舎

フツの民兵によるジェノサイド(集団殺害)で性的暴力にあった女性たちは、そこから生まれた子供たちを抱え、過酷な苦悩を生き、それに伴う様々なトラウマと闘い続けている。インタビューと写真でその現実を伝える。

2010:9./ 143p

978-4-903545-58-5

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/10/27